

平成 28 年度

地域医療研修



公立大学法人
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

横浜市立大学附属病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター

目 次

I	地域医療研修 実施要項	1
II	地域医療研修における注意点	3
III	協力施設の概要	4
1	横浜市総合保健医療センター	4
2	横浜掖済会病院	6
3	横浜保土ヶ谷中央病院	8
4	木下クリニック	9
5	小林内科クリニック	10
6	国際親善総合病院	12
7	湘南中央病院	14
8	湘南ホスピタル	16
9	深沢中央診療所	18
10	横須賀市立市民病院	20
11	三浦市立病院	22
12	神奈川県立足柄上病院	24
13	富良野協会病院	26
14	松前町立松前病院	28
15	公立相馬総合病院	30
16	新潟労災病院	32
17	遠山病院	34
18	高知県 病院グループ	36
19	平戸市民病院	42
20	柿添病院	44
21	青洲会病院	46
22	出水郡医師会広域医療センター	47
23	那覇市立病院	49
24	豊見城中央病院	51
25	沖縄県立八重山病院	52
IV	地域医療研修中の待遇について	54
	自己紹介票	

※医療法人などの法人名は省略して記載しています。

I

地域医療研修 実施要項

研修方針

地域医療研修は研修 2 年目に 1 カ月以上、協力施設（地域の病院、診療所）において実施し、中小病院・診療所、へき地・離島診療所等の地域医療の現場を経験する。

研修目標

医療を必要とする患者とその家族に対して質の高い医療を提供できる医師となるために、患者が営む日常生活や居住する地域の特性を把握しようとする態度を身につけ、医療を提供する場である病院や診療所等の役割や医師と患者の関係を理解し、患者中心の医療が実践できる基本的能力を習得する。

行動目標

以下の行動目標の中から協力施設の特徴に応じたものを選択し研修する

- (1) 外来または病棟診療：地域における全人的診療について実践的に学ぶ
 - 1) 頻度の高い救急疾患の初期治療ができる
 - 2) 頻度の高い慢性疾患患者に対する生活指導ができる
 - 3) かかりつけ医の役割を述べることができる
 - 4) 専門医への適切なコンサルテーションができる
 - 5) 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し対処できる
 - 6) 横浜市の個人情報保護条例を理解し、プライバシーに配慮して活動できる
- (2) 在宅医療：在宅医療の意義、患者の家族や周辺状況を含めた医療について習得する
 - 1) 訪問診療に必要な医療器具、薬剤を準備できる
 - 2) 介護者に対して医療人が配慮すべき事項について説明できる
 - 3) 患者をとりまく家族環境、住宅環境について注意すべき事項を説明できる
 - 4) 訪問看護の役割を理解し、訪問看護師と共に活動できる
 - 5) 在宅患者の入院のタイミング、搬送方法について説明できる
 - 6) 家で死を迎えようとする患者や家族の健康観、死生観、宗教観を把握することの重要性について説明できる
- (3) 予防医療：予防医療の意義を理解し、患者指導の実際を学ぶ
 - 1) 健康増進に必要な患者教育（食事、運動、休養、禁煙）ができる
 - 2) 性感染症予防、家族計画を計画できる
 - 3) 予防接種を実施できる

- 1) 医療機関との連携に必要な書類等の手続きについて説明できる
- 2) 以下の文書の必要性を理解し、作成できる

各種診断書（死亡診断書など）、各種指示書（訪問看護指示書など）

研修施設

横浜市総合保健医療センター、横浜掖済会病院、横浜保土ヶ谷中央病院、木下クリニック、小林内科クリニック、国際親善総合病院、湘南中央病院、湘南ホスピタル、深沢中央診療所、横須賀市立市民病院、三浦市立病院、神奈川県立足柄上病院、富良野協会病院、松前町立松前病院、公立相馬総合病院、新潟労災病院、遠山病院、高知県 病院グループ、平戸市民病院、柿添病院、青洲会病院、出水郡医師会広域医療センター、那覇市立病院、豊見城中央病院、沖縄県立八重山病院

指導体制

大学責任者

附属病院：稲森 正彦（臨床研修センター長）

附属市民総合医療センター：平和 伸仁（臨床教育研修センター長）

協力施設責任者

各病院・施設の病院長・施設長

評価方法

研修医の自己評価：原則として EPOC を用いるが、オンラインでの入力が困難な場合は臨床研修センターが作成した研修評価表（EPOC の評価項目と同じ）に記入する。

各施設が独自の評価を行う場合は、評価の写しを研修終了後に臨床研修センターに提出する。

Ⅱ

地域医療研修における注意点

1 自己紹介票

研修開始の前月に自己紹介票のファイル（Excel または PDF）を協力施設にメールで送ります。
 研修開始の**2週間前までに**必要事項を記入して下記にご提出ください。
 附 属 病 院：resident@yokohama-cu.ac.jp 又は臨床研修センターもしくは人事担当
 センター病院：kkensyu@yokohama-cu.ac.jp 又は人事調整担当窓口

2 研修期間

原則として、**各月の 1 日、または最初の平日～月末日** ※研修開始前にオリエンテーションがある協力施設もあります。
 なお、遠方の協力施設への移動日（往復とも）は原則年次休暇扱いとなります。

3 研修中の休日

土日祝日休みを原則としますが、土曜日の勤務がある協力施設もあります。
 1 カ月研修の場合、5 日以上休むと追加研修が必要となります。
6 月～ 10 月に地域医療研修となる場合、地域医療研修期間中は夏季休暇を取得することはできません。

4 給与の支給

基本給は大学病院から、当直代は協力施設から支給されます。（当直の有無は施設により異なります。）

5 交通費

自宅又は宿舎～病院：通勤届を提出してください。
 遠方施設への往復：往復分（1 回）を大学から支給します。

【飛行機利用の場合の注意事項】

立て替え払いとなります。研修終了後、下記を必ず提出してください。なお、寄り道は認められません。

①領収書（宛名は研修者本人） ②搭乗半券 ③搭乗証明書

※搭乗半券については利用会社によって窓口発行になる場合があります。詳細はメールで周知しますので、必ず確認してください。

※ネット予約の場合、支払方法によってはネット上で領収書や搭乗証明の発行ができない場合があります。

6 宿舎と経費

協力施設によって事前の手続きが異なります。各施設の説明を参照してください。
 なお、沖縄研修（八重山病院を除く）については宿舎がありません。自身でマンスリーなどを借りてください。（ホテル不可。
上限 3 万まで家賃助成有）

7 保険医登録の異動届（神奈川県外で保健医療に携わるためにはこの手続きが必須です）

出発の 3 日前までに次の書類等を準備のうえ、附属病院またはセンター病院の庶務担当で手続きを行ってください。

①保険医登録票原本	②印鑑	③届出書類（庶務担当にてお渡し）
-----------	-----	------------------

8 研修にあたって必要なもの

①医師免許証のコピー	②保険医登録票のコピー
③健康保険証（病気になったときに必要）	④銀行口座番号の控え（当直を行った際の支払い用に必要）
⑤印鑑	⑥大学病院の職員証（身分証代わりになります）
⑦診療に必要なもの（聴診器・白衣・靴など）	⑩研修評価票（指導医に渡して評価してもらいます）
⑧研修手帳（附属病院）、臨床研修医の手引き（センター病院）	

9 その他

※医師賠償責任保険に加入済みですか。未加入の場合は研修開始前に臨床研修センターに相談してください。
 ※ HBV、麻疹、風疹、水痘、ムンプスに対する抗体の有無を確認してください。
 抗体の有無が不明の場合は、臨床研修センターに問い合わせて、確認してください。

Ⅲ-1

横浜市総合保健医療センター

研修責任者	センター長 岩成 秀夫
研修担当者	く に 久邇 之房
連絡先	電話 045-475-0001 FAX 045-475-0002
住所	〒 222-0035 神奈川県横浜市港北区烏山 1735
アクセス	<div> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 横浜線、新幹線、市営地下鉄線新横浜駅から徒歩10分 ・ 新横浜駅から市営バス300系統「浜島橋」下車徒歩1分 ・ 第三京浜港北インターチェンジから車で約5分 </div> 
その他	2F に食堂あり
研修開始前に必要な手続き	研修初日 8 時 30 分に医局に集合
持参するもの	白衣、医師免許証と保険医登録票のコピー、印鑑
研修期間	1 カ月 6、7、9～1月のうちのいずれか 2人/月×4カ月
研修内容	<p>1) 老健施設：デイケア、介護など 2) 有床診療所：病棟研修、認知症の鑑別外来 3) 地域精神：施設研修（デイケア、生活訓練、就労援助など）</p> <p>第1日 オリエンテーション</p> <p>1 週間の研修計画の例 月 オリエンテーション 火 内科生活習慣病外来、病棟処置 水 認知症外来 木 認知症外来、皮膚科往診 金 入浴介助</p> <p>老健施設 2 週間、診療所＋地域精神 2 週間 最終日 施設長、診療所長、地域精神部長による評価</p>
指導医より	<p>こんな研修医に来て欲しい：</p> <p>高齢者の医療、精神科に興味がある研修医に役立つ研修を提供できます。他分野を選択する研修医にとっても、大学では経験できない研修が可能となると思います。積極的に質問し、一緒に働ける研修医を待っています。</p>

研修医の感想	<p>卒業後、大学病院でしか勤務したことがなかったので、病院の外での医療活動を垣間見ることができて新鮮であった。</p> <p>センター以外にも磯子区生活支援センターなど他の施設に行く機会も与えられ、視野が広がった。特に精神障害者の支援過程の見学は、料理など自分自身の身近な生活習慣を見直すよい契機となった。</p>
施設案内	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神障害者支援部門 (精神科デイケア・生活訓練・就労訓練・就労支援センター) ◆介護老人保健施設(しらさぎ苑) 80 床 (認知症専門棟 30 床・一般棟 50 床・通所リハビリテーション) ◆診療所 19 床(医療病床 7 床・介護療養病床 12 床) 内科・認知症診断外来・認知症外来 特定健康診査・横浜市健康診査 ◆訪問看護ステーション「みんなのつばさ」 ◆シニアフィットネス ◆港北区生活支援センター



研修担当者 久邇先生



研修責任者	病院長 長倉 靖彦																		
研修担当者	副院長 斉藤 紀文																		
事務担当者	事務次長 吉野 博昭																		
連絡先	電話 045-261-8191 E-mail y-ekisk@snow.ocn.ne.jp																		
住所	〒231-0036 神奈川県横浜市中区山田町 1-2																		
アクセス	JR 関内駅および石川町駅 徒歩 10 分 市営地下鉄伊勢佐木長者町駅 (南口山田町方面下車) 徒歩 3 分																		
																			
その他	駐車場なし																		
研修開始前に必要な手続き	前月 15 ～ 20 日の平日午後に病院長長倉先生に電話 日程を調整して相談に行く																		
持参するもの	履歴書 (写真付き)、白衣、医師免許証と保険医登録票のコピー、銀行口座番号、印鑑																		
研修期間	1 カ月～2 カ月 (原則 1 カ月) 6、7、9、10、11 月 1 回 2 名 合計 10 名受け入れ																		
研修内容	内科、外科、整形外科、眼科、麻酔科の外来・検査 (希望があれば手術室) 研修、放射線科読影、老健での研修 (各自の希望にそってプログラムを作成) 研修プログラムの例 (1) <table><tr><th>時間 \ 曜日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr><tr><td>午前 (9:00～12:00)</td><td>麻酔科</td><td>内科外来</td><td>眼科外来</td><td>麻酔科</td><td>内視鏡 超音波</td></tr><tr><td>午後 (13:00～17:00)</td><td>麻酔科 7/6 老健 7/13・27 (14:00～16:00)</td><td>麻酔科 (外科手術) (呼吸器内科) 地域健康 プロジェクト 7/28</td><td><div>7/1 13:30</div><div>事務部・病院案内</div><div>眼科手術</div><div>7/8・15・22</div><div>7/29 13:30</div><div>院長室</div></td><td>麻酔科</td><td>病棟</td></tr></table>	時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	午前 (9:00～12:00)	麻酔科	内科外来	眼科外来	麻酔科	内視鏡 超音波	午後 (13:00～17:00)	麻酔科 7/6 老健 7/13・27 (14:00～16:00)	麻酔科 (外科手術) (呼吸器内科) 地域健康 プロジェクト 7/28	<div>7/1 13:30</div> <div>事務部・病院案内</div> <div>眼科手術</div> <div>7/8・15・22</div> <div>7/29 13:30</div> <div>院長室</div>	麻酔科	病棟
時間 \ 曜日	月	火	水	木	金														
午前 (9:00～12:00)	麻酔科	内科外来	眼科外来	麻酔科	内視鏡 超音波														
午後 (13:00～17:00)	麻酔科 7/6 老健 7/13・27 (14:00～16:00)	麻酔科 (外科手術) (呼吸器内科) 地域健康 プロジェクト 7/28	<div>7/1 13:30</div> <div>事務部・病院案内</div> <div>眼科手術</div> <div>7/8・15・22</div> <div>7/29 13:30</div> <div>院長室</div>	麻酔科	病棟														

研修内容	研修プログラムの例 (2)					
	時間 \ 曜日	月	火	水	木	金
	午前 (9:00 ~ 12:00)	内視鏡 超音波	整形外科外来	超音波	麻酔科	内科外来
	午後 (13:00 ~ 17:00)	麻酔科 7/6	呼吸器内科外来 7/7・14・21	[7/1 13:30] [事務部・病院案内] 眼科手術 7/8・15・22 [7/29 13:30] [院長室]	麻酔科	病棟
		老健 7/13・27 (14:00~16:00)	地域健康 プロジェクト 7/28			

研修医から ひとこと	(1)
	<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡とエコーを実際に研修することができて貴重な経験でした。 ・大学では出来ないような手術・手技を研修させてもらえます。 ・外科では胆摘、ヘルニアの手術に入らせていただきました。内科では GF・US を指導医がマンツーマンで指導してくれ、実際に施行させてもらえます。 ・特に科を決めるわけではないので、いくつもの科を研修できる上、忙し過ぎるということはありません。 ・どこに行ってもやさしく迎えてくれます。 ・研修医室があるので落ち着けるスペースもあります。
	(2)
	<p>大学病院で選択しなかった眼科、整形外科を研修させていただきました。高齢者に多い白内障や緑内障、骨粗鬆症とそれに伴う圧迫骨折の患者様を実際に診察することができ、多くのことを学びました。指導医と一緒に外来にすることで、その場で質問ができ、また教科書で確認しながら診察することで実践的な知識や技術が習得できたと思います。眼科外来では静的視野検査と角膜内皮細胞検査を実際に体験しました。指導医の先生はもちろん多くのスタッフにお世話になりました。改めて感謝いたします。</p>



長倉 靖彦 病院長



斉藤 紀文 副院長 (プログラム責任者)



病院外観写真



Ⅲ-3

横浜保土ヶ谷中央病院（旧横浜船員保険病院）

研修責任者	病院長 後藤 英司												
研修担当者	統括診療部長 内藤 実 naito-makoto@hodogaya.jcho.go.jp 事務担当 総務企画課												
連絡先	電話 045-331-1251												
住所	〒240-8585 神奈川県横浜市保土ヶ谷区釜台町 43-1												
アクセス	<p>横浜駅西口バス9番乗場 （相鉄バス）釜台住宅第3行 または釜台経由上星川駅行乗車 約20分釜台住宅第2 （当病院正門前）下車</p>  												
その他	<p>駐車場利用可 月2～4回当直あり 当直料 1回20,000円</p>												
研修開始前に必要な手続き	特になし												
持参するもの	履歴書、白衣、医師免許証と保険医登録票のコピー、銀行口座番号、印鑑												
研修期間	1カ月 6、7、9、10、11月1回2名 合計10名受け入れ												
研修内容	<p>内科・外科研修が主となりますが、その中で専門分野を選ぶことができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>研修の特徴</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 消化器内科</td><td>内視鏡的検査・治療</td></tr> <tr> <td>2) 循環器内科</td><td>心カテ、PCI、PTA、ペースメーカー</td></tr> <tr> <td>3) 呼吸器内科・膠原病科</td><td>気管支鏡・胸部CT読影</td></tr> <tr> <td>4) 腎臓内科・人工透析科</td><td>血液透析</td></tr> <tr> <td>5) 消化器外科</td><td>消化器外科手術、術前後管理</td></tr> </tbody> </table> <p>5つの中から1つを選んでください。その専門分野を中心に1カ月の研修を行います。 皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科の研修も可能です。 小児科は非常勤医なので研修は困難です。</p>		研修の特徴	1) 消化器内科	内視鏡的検査・治療	2) 循環器内科	心カテ、PCI、PTA、ペースメーカー	3) 呼吸器内科・膠原病科	気管支鏡・胸部CT読影	4) 腎臓内科・人工透析科	血液透析	5) 消化器外科	消化器外科手術、術前後管理
	研修の特徴												
1) 消化器内科	内視鏡的検査・治療												
2) 循環器内科	心カテ、PCI、PTA、ペースメーカー												
3) 呼吸器内科・膠原病科	気管支鏡・胸部CT読影												
4) 腎臓内科・人工透析科	血液透析												
5) 消化器外科	消化器外科手術、術前後管理												



病院概観



64列CTスキャン



血管造影装置

Ⅲ-4

木下クリニック

研修責任者	病院長 木下 裕三
連絡先	電話 045-843-4310 E-mail kclinic@olive.ocn.ne.jp
住所	〒233-0013 神奈川県横浜市港南区丸山台 3-11-15
アクセス	<p>横浜市営地下鉄上永谷駅下車、徒歩 5 分</p>  
研修開始前に必要な手続き	<p>特になし 初日（日祝日の場合は翌日）9 時にクリニックに集合</p>
研修期間	<p>1 カ月 1 回 1 名 年 2 名</p>
研修内容	<p>診療科： 泌尿器科・内科・皮膚科</p> <p>主に取り扱う疾患：</p> <p>① 尿路・副腎・生殖器系の内科・泌尿器科疾患 膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、精巣上体炎をはじめとする尿路・副性器感染症 血尿・タンパク尿をきたす疾患 前立腺肥大症、神経因性膀胱をはじめとする排尿障害 前立腺癌、膀胱癌、腎癌をはじめとする尿路生殖器系悪性腫瘍 尿路結石 副腎・生殖器系内分泌疾患</p> <p>② STD、外陰部皮膚疾患 クラミジア感染症、淋菌感染症、ヘルペス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒 浅在性真菌症、その他の皮膚疾患</p> <p>③ その他、プライマリ・ケアや寝たきり患者の往診在宅診療</p>

研修責任者	院長 小林 英雄																						
連絡先	電話 045-801-2551 FAX 045-801-2703																						
住所	〒245-0014 神奈川県横浜市泉区中田南 2-2-2																						
アクセス	地下鉄1号線踊場駅③番出口（デニーズ向かい）より長後・湘南台方向に徒歩5分 または東原バス下車、長後・湘南台方向に徒歩1分																						
その他	<p>小林内科クリニックと提携している6つのクリニックで1カ月の研修を行います。 研修スケジュールについては個別に相談に載ります。 URL http://www.kobayashinaika.jp/</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>提携クリニック</th><th>専門 / 住所</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡邊こどもクリニック 渡邊 豊彦</td><td>小児科 西が岡 1-13-6</td><td>1) 小児の診察の基本とルール 2) 家族への病気の説明 3) 感染症の実際（溶連菌感染症・伝染性紅斑・水痘・流行性耳下腺炎・手足口病ほか） 4) 小児の健康診断（チェックポイント）の理解 5) 定期予防接種の理解と実際</td></tr> <tr> <td>應天堂内科 中田町クリニック 大庭 義人</td><td>内科 中田南 3-6-1 希光ビル 2F</td><td>生活習慣病（糖尿病、高血圧、高脂血症等）の治療に力を入れています。研修内容は外来診療を中心に、往診（施設）や栄養指導も研修してください。 診療所研修において、EBM の実践も学べます。 </td></tr> <tr> <td>緑台クリニック 藤井 隆人</td><td>内科 緑園 2-6-11</td><td>信頼される かかりつけ医を目標にしています。 上部内視鏡・胃透視・下部内視鏡・心臓・頸動脈エコーを研修してください。</td></tr> <tr> <td>いずみ野皮ふ科 増田 智栄子</td><td>皮膚科 泉区和泉町 5732-9 光南ビル 2F</td><td>外来皮膚科全般を学べます。 </td></tr> <tr> <td>鈴木整形外科 鈴木 正比古</td><td>整形外科 泉区中田東 3-2-8</td><td>救急の外傷処置、特にテーピングの実技を研修できます。 </td></tr> <tr> <td>緑園こどもクリニック 山中 龍宏</td><td>小児科 緑園 2-1-6 アムニス 201</td><td>外来小児科全般を学ぶことができます。とくにこどもの事故予防については日本の第一人者です。</td></tr> </tbody> </table>		提携クリニック	専門 / 住所		渡邊こどもクリニック 渡邊 豊彦	小児科 西が岡 1-13-6	1) 小児の診察の基本とルール 2) 家族への病気の説明 3) 感染症の実際（溶連菌感染症・伝染性紅斑・水痘・流行性耳下腺炎・手足口病ほか） 4) 小児の健康診断（チェックポイント）の理解 5) 定期予防接種の理解と実際	應天堂内科 中田町クリニック 大庭 義人	内科 中田南 3-6-1 希光ビル 2F	生活習慣病（糖尿病、高血圧、高脂血症等）の治療に力を入れています。研修内容は外来診療を中心に、往診（施設）や栄養指導も研修してください。 診療所研修において、EBM の実践も学べます。 	緑台クリニック 藤井 隆人	内科 緑園 2-6-11	信頼される かかりつけ医を目標にしています。 上部内視鏡・胃透視・下部内視鏡・心臓・頸動脈エコーを研修してください。	いずみ野皮ふ科 増田 智栄子	皮膚科 泉区和泉町 5732-9 光南ビル 2F	外来皮膚科全般を学べます。 	鈴木整形外科 鈴木 正比古	整形外科 泉区中田東 3-2-8	救急の外傷処置、特にテーピングの実技を研修できます。 	緑園こどもクリニック 山中 龍宏	小児科 緑園 2-1-6 アムニス 201	外来小児科全般を学ぶことができます。とくにこどもの事故予防については日本の第一人者です。
提携クリニック	専門 / 住所																						
渡邊こどもクリニック 渡邊 豊彦	小児科 西が岡 1-13-6	1) 小児の診察の基本とルール 2) 家族への病気の説明 3) 感染症の実際（溶連菌感染症・伝染性紅斑・水痘・流行性耳下腺炎・手足口病ほか） 4) 小児の健康診断（チェックポイント）の理解 5) 定期予防接種の理解と実際																					
應天堂内科 中田町クリニック 大庭 義人	内科 中田南 3-6-1 希光ビル 2F	生活習慣病（糖尿病、高血圧、高脂血症等）の治療に力を入れています。研修内容は外来診療を中心に、往診（施設）や栄養指導も研修してください。 診療所研修において、EBM の実践も学べます。 																					
緑台クリニック 藤井 隆人	内科 緑園 2-6-11	信頼される かかりつけ医を目標にしています。 上部内視鏡・胃透視・下部内視鏡・心臓・頸動脈エコーを研修してください。																					
いずみ野皮ふ科 増田 智栄子	皮膚科 泉区和泉町 5732-9 光南ビル 2F	外来皮膚科全般を学べます。 																					
鈴木整形外科 鈴木 正比古	整形外科 泉区中田東 3-2-8	救急の外傷処置、特にテーピングの実技を研修できます。 																					
緑園こどもクリニック 山中 龍宏	小児科 緑園 2-1-6 アムニス 201	外来小児科全般を学ぶことができます。とくにこどもの事故予防については日本の第一人者です。																					
研修開始前に必要な手続き	初日（日祝日の場合は翌日）8時30分にクリニックに集合																						
研修期間	1カ月 6、10、11月																						

研修内容

1) 外来診療・在宅診療 2) 医師会活動 3) 老健施設協力医活動

研修の例

	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			小林内科	小林内科	小林内科	休み
午前						
午後						
夜間						
	6	7	8	9	10	11
	小林内科	小林内科	應天堂内科	應天堂内科	應天堂内科	休み
午前						
午後						
夜間		7:00～実地診療循環器セミナー				
	13	14	15	16	17	18
	いずみ野皮ふ科	いずみ野皮ふ科	渡邊こども	渡邊こども	渡邊こども	休み
午前						
午後						
夜間						
	20	21	22	23	24	25
	緑台 CL	緑台 CL	緑台 CL	緑園こども	緑園こども	休み
午前						
午後						
夜間	7:15～ 胸部レントゲン カンファレンス				7:30～ 医師会班長役員会	
	27	28	29	30		
	小林内科	鈴木整形	小林内科	小林内科		
午前						
午後						
夜間	7:30～ 親善病院循環器 カンファレンス		7:30～ 泉区糖尿病勉強会			

研修医の感想

- * プライマリ・ケアの実際を学べた。
- * 診療所で研修することで、大学病院や総合病院とは異なる働き方があることがわかり、将来を選択する上での参考になった。



小林先生



研修責任者	病院長 安藤 暢敏
研修担当者	腎臓・高血圧内科部長 酒井 政司
事務担当者	職員課 中村 幸一郎
連絡先	電話 045-813-0221 (代表) FAX: 045-813-7419 E-mail: syokuinka@shinzen.jp
住所	〒245-0006 神奈川県横浜市泉区西が岡 1-28-1
アクセス	<p>相模鉄道 弥生台駅 弥生台駅 下車－徒歩 6 分（バスで一停留所）</p> <p>緑園都市駅－神奈川中央交通バス 弥生台行（親善病院前）下車</p> <p>JR 東戸塚駅 東戸塚駅 下車－神奈川中央交通バス 弥生台行（親善病院前）下車 バスのりば→東戸塚駅東口より「2 番のりば」</p> <p>JR 戸塚駅 横浜市営地下鉄 戸塚駅 下車 - 神奈川中央交通バス 弥生台行（親善病院前）下車 バスのりば→戸塚駅東口より「5 番のりば」 バスのりば→戸塚西口バスセンターより「7 番のりば」 JR 戸塚駅西口よりタクシーで約 15 分</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 新館棟外観 職員宿舎外観 </div>
その他	駐車場利用可
研修開始前に必要な手続き	8 時 30 分までに新館棟 3 階管理部職員課へ集合 ※宿舎を希望する場合、事前に連絡が必要。
持参するもの	白衣、聴診器、医師免許証と保険医登録票のコピー、銀行口座番号、印鑑（シャチハタ可）、履歴書
研修期間	1 カ月
研修内容 （研修管理委員長より）	<p>当院は横浜市泉区にある病床 287 床の総合病院で、救急医療を含めた地域の中核病院として診療しております。当院の研修の特徴は研修医先生方の将来必要となる臨床能力（特に診察手技の習得、論理的思考による診断能力 自己学習能力）を高めることを目標にしております。また研修医の先生は将来選択する診療科をなるべく多く研修したいと考えがちですが、当院では将来自分の診療に有用となる科を研修することを勧めております。救急医療については大学病院では経験できない Common disease と CPA から walk-in までの多彩な救急患者から軽症患者の疾患を多数症例の問診、初期対応処置（気管挿管など）から経験することができます。</p> <p>当院で地域研修を行っていただく場合、将来選択する診療科を伺い、研修医の先生と相談の上、将来の診療スキルに幅と奥行きがでるような研修プログラムを作成したいと考えております。</p>

研修医より (2 年次生)

当院での研修の最大の魅力は、少人数制で密度の濃い研修ができる点です。

- ・ 症候学、治療学に対する論理的考えを重要視する指導。（常に“何故？”が合言葉）
- ・ 各研修医に割り振られる症例数は必要十分であり、中心静脈穿刺・腰椎穿刺・胸腔穿刺などの手技も豊富です。（実際に内視鏡検査も約50例経験）
- ・ 2 次救急体制のため、研修医が最前線に立って診療を行います。もちろん、困った時には指導医の助言・指導があります。

近くに寮もあり、300 床程度の病院だからこそ可能な地域医療研修をしてみませんか。

医師紹介



病院長 安藤 暢敏



副院長 清水 誠



研修管理委員長
腎臓・高血圧内科部長 酒井 政司



研修管理副委員長・
外科部長 佐藤 道夫

院内研修風景



ICU カンファレンス



救急外来にて腰椎穿刺



TV室にて脊髄造影

院外研修



救急隊・認定看護師とメディカルラリー参加



ラボセンターにて1泊2日手術手技研修

研修責任者	病院長 長田 博昭 (h.osada@swg.or.jp)												
事務担当者	総務課 伊藤 稔 (m.ito@swg.or.jp)												
連絡先	電話 0466-35-1801 FAX 0466-35-2886												
住所	〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥 1-3-43												
アクセス	<p>JR 東海道本線、辻堂駅下車 北口より徒歩 10 分</p> 												
その他	<p>車通勤 不可 休日：土曜日、日・祝日、当直無</p>												
研修開始前に必要な手続き	初日 8 時 30 分 病院 2 階総務課集合												
持参するもの	白衣、医師免許証と保険医登録票の原本、印鑑												
研修期間	<p>1 カ月 1 回 1 名 6、7、9、10、11、12 月のいずれか</p>												
研修内容	<table border="1"> <tr> <td>急性期病床</td><td>52 床</td></tr> <tr> <td>地域包括ケア病床</td><td>52 床</td></tr> <tr> <td>回復期リハビリ病床</td><td>36 床</td></tr> <tr> <td>緩和ケア病床</td><td>16 床</td></tr> <tr> <td>療養病床</td><td>43 床</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>199 床</td></tr> </table> <p>【診療科目】 内科、外科、整形外科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、神経内科、精神科、心療内科、肛門外科、皮膚科、リハビリテーション科、リウマチ科、泌尿器科、放射線科、緩和ケア内科、腎臓内科（人工透析）、精神科、麻酔科、胸部外科、乳腺外科、糖尿病内科、内分泌内科、ペインクリニック内科、（救急・労災指定 各種保険取扱）</p> <p>緩和ケア病棟研修…………… 2 週間 医長 片町 守男 (katamachi@swg.or.jp) 回復期リハビリ病棟研修…………… 1 週間 医長 飛松 治基 往診・訪問看護ステーション研修……… 3 日間 所長 岡田 美智子 在宅医療研修…………… 3 日間 部長 奥野 滋子</p>	急性期病床	52 床	地域包括ケア病床	52 床	回復期リハビリ病床	36 床	緩和ケア病床	16 床	療養病床	43 床	合 計	199 床
急性期病床	52 床												
地域包括ケア病床	52 床												
回復期リハビリ病床	36 床												
緩和ケア病床	16 床												
療養病床	43 床												
合 計	199 床												

指導医より	こんな研修医に来て欲しい：地域医療や緩和ケアに興味がある先生
病院の特徴と研修の理念	急性期病床、回復期病床、療養病床、緩和ケア病床で研修することができ、往診・訪問看護、在宅医療の体験もできます。この中で地域のニーズに応える地域医療を研修してください。プライマリ・ケア医師は医療・福祉制度におけるコーディネーターの役割も果たさなくてはなりません。それぞれの施設の特徴を理解し、短期間ではありますが、医療スタッフとともに働いてほしいと思います。



長田 博昭 院長



湘南中央病院外観



緩和ケア病棟のカンファレンス風景



緩和ケア病棟ステーション



緩和ケア病棟ラウンジ風景



緩和ケア病棟からの眺望「江の島」

Ⅲ-8

湘南ホスピタル

研修責任者	理事長・病院長 木原 明子 kihara@shohos.org
連絡先	電話 0466-33-5111 FAX 0466-36-5116
住所	〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂 3-10-2
アクセス	JR 辻堂駅南口交番前入る 7 分 <div data-bbox="815 443 1430 1055"> <p>湘南ホスピタル案内図</p> <p>至茅ヶ崎 小田原</p> <p>至藤沢 東京</p> <p>至茅ヶ崎</p> <p>至江ノ島</p> <p>JR 辻堂駅南口交番前入る 7 分</p> </div>
その他	車通勤不可 土日祝日 休み、当直なし
研修開始前に必要な手続き	初日 8 時に病院総合受付に集合
持参するもの	病院の名札、白衣、医師免許証と保険医登録票のコピー、印鑑
研修期間	1 カ月 1 回 1 名 6、7、9、10、11、12、1、2 月
研修内容	病棟で患者を受け持つ（急性期治療を終え転院してくる場合と在宅療養中に悪化した場合など）。 往診・訪問看護に同行し、診療に参加する。
研修の行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地域に密着した病院として、外来・病棟・往診・訪問看護の連携の重要性を説明できる 2) 療養病床において急性期を脱した慢性期の患者の治療の特徴を説明できる 3) 患者・家族と医療スタッフのコミュニケーションの重要性を説明できる 4) 複数の疾患を併せ持つ高齢者の回復に必要な機能の評価法を列挙できる
指導医より	こんな研修医に来て欲しい： 地域医療、慢性期・高齢者の医療に興味がある研修医 訪問診療で患者さん宅に伺うので、礼儀正しく行動できる研修医 医療スタッフとコミュニケーションが取れる研修医



木原病院長

病院の概要

医療療養病床 104 床
 内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科
 神経内科・リハビリテーション
 精神科（外来のみ）・整形外科（外来のみ）

受け入れ可能な主な疾患 ○→可 ×→不可 △→応相談

○糖尿病（インスリン治療可）	○神経難病	○悪性腫瘍末期	○麻薬による疼痛管理
○経管栄養	○中心静脈栄養	○気管切開	○酸素療法 ○褥創
△徘徊	△声だし		
×人工呼吸器	×透析		



病棟で研修医を囲んで

研修責任者	診療所長 宮下 明
連絡先	電話 0467-31-7284
住所	〒248-0036 神奈川県鎌倉市手広 1-9-31
アクセス	JR 大船駅より江ノ電バス「手広」下車 徒歩 5 分 「鎌倉パスタ」店前
	 <p>診療所外観</p>
その他	土曜日の午前中の通常業務がありますが、相談にのります。 休み：火曜、日・祝日
研修開始前に必要な手続き	初日 8 時に診療所 1 週間前までに宮下 yfd18721@nifty.com にメールで連絡
持参するもの	病院の名札、白衣、医師免許証と保険医登録票のコピー
研修期間	1 カ月 1 回 1 名 6、7、9、10、11、12、1、2 月のいずれか
研修内容	<p>所長は呼吸器内科専門医です。</p> <p>往診を中心とした地域医療研修です。診療所の外来、検診、往診の研修してください。</p> <p>医療生協の訪問看護ステーション、ヘルパーステーションと共同して在宅の生活支援についても研修します。4 週間のうち 1～2 週間は、湘南ホスピタル（辻堂：入院施設、リハビリテーション施設のある病院）で研修し、脱水や、食欲不振などで一時的に家庭で過ごせなくなった在宅患者さんをどう支えるかを学びます。</p> <p>当直はありませんが、24 時間支援診療所ですので、夜中に往診の患者さんがご自宅で亡くなられた場合は呼び出しますので、一緒に行きましょう。但し、在宅での看取りは年 2～3 人なので、研修中に呼び出しがあったら貴重な機会と考えてください。家族の方と話しながら一緒に患者さんを見送しましょう。</p>
指導医より	<p>こんな研修医に来てほしい：</p> <p>人の話を聞ける人</p> <p>診療所を受診するひとは医療生協の加入者でもあります。診療所を利用しやすくしようという気持ちを込めていろいろな意見を寄せてくれます。大学病院の患者さんとは違うかもしれませんが、患者さんの声に耳を傾けましょう。</p>

研修の
月間スケジュール
の例

		月	火	水	木	金	土
第 1 週	AM	オリエン テーション	休み	外来	外来	往診	外来
	PM	往診		職員会議振 り返り	薬局研修	外来	振り返り
第 2 週	AM	外来	休み	外来	外来	往診	外来
	PM	往診		グループホーム カンファランス	薬局研修	外来	振り返り
第 3 週	AM	湘南ホスピタル研修					休み
	PM						
第 4 週	AM	外来	休み	外来	外来	往診	休み
	PM	往診		振り返り	薬局研修	外来	

研修医の感想

- ★初めて外来に出たときは、病棟とは違う環境で、血圧測定、身体所見など、どれも十分にできませんでした。今までの研修生活での抜けていた部分を再確認しました。患者さんを沢山診ていく内に少し慣れ、器械のない状況での診察はとても勉強になりました。
- ★初めて外来診療をやりました。大学病院に入院する患者さんと違い、疾患の状態が安定している患者さんが多く、日々の健康管理をすすめるにあたって信頼関係を築くことの重要性を実感しました。
- ★大学病院での研修ではわからなかった診療所の役割を実感することができました。往診は暑い中大変でしたが、経験することができてとてもよかったと思います。
診察手技についても細かく指導していただき、すいぶん所見がとれるようになった気がします。
- ★患者さんは皆さん、診療所を頼りにしていて、「モンスターペイシェント」がいないことが印象的でした。1年目は小田原市立病院で研修したので、地域医療を経験したと思っていたのですが、診療所の患者 - 医師関係は病院とは全く違って、診療所のスタッフ皆が患者さんの顔や名前、住所まで把握するなど、本当に地域と密着していました。また病院で急性期医療を研修していると全く見えてこなかった退院後の患者さんの様子を見ることができました。日本全体としての医療状況、療養にかかる具体的な費用など、さまざまな角度から医療の問題・課題を考えることができた1カ月でした。



宮下先生、診療所の皆さんと研修医



研修風景

Ⅲ-10 横須賀市立市民病院

研修責任者	管理者 久保 章
研修担当者	副病院長 亀田 久仁郎
事務担当者	総務課 宮地
連絡先	電話 046-856-3136 (代表) FAX 046-858-1776 E-mail : saiyo-yshimin@jadecom.or.jp
住所	〒240-0195 神奈川県横須賀市長坂 1-3-2
アクセス	<p>JR 横須賀駅より：横須賀市民病院行で終点下車 ：長井行か三崎方面行で「林」下車徒歩 5 分 京急横須賀中央駅より：横須賀市民病院行で終点下車 ：長井行か三崎方面行で「林」下車徒歩 5 分 京急 YRP 野比駅より：横須賀市民病院行で終点下車 京急三崎口駅より：横須賀市民病院行で終点下車 京急三浦海岸駅より：横須賀市民病院行で終点下車 JR 逗子駅より：横須賀市民病院行 または長井行で「横須賀市民病院」下車 京急新逗子駅より：横須賀市民病院行 または長井行で「横須賀市民病院」下車</p>   
その他	<p>原則として 4 週 8 休（平日は 8：30～17：00、土曜日は 8：30～12：30 月 2 回休み） 24 時間保育所 有 時間外勤務は原則行わない。</p>
研修開始前に必要な手続き	<p>初日は 8：30 に中央棟 2 階総務課に集合 勤務に関する問い合わせは事務担当者まで 研修開始前に事前に来院していただき、研修担当者との打ち合わせがあります。（日時は当院で指定させていただきます。）</p>
持参するもの	<p>医師免許証（写し）、保険医登録票（写し）、履歴書（写真付）、健康保険証、印鑑、 聴診器、白衣、仕事用の履物（サンダル、クロックスは除く）、名札</p>
研修期間	<p>当院での地域医療研修では</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅医療 2. 地域や僻地の診療所 3. 各種地域医療機関や健康管理センターと連携したフォローアップなど <p>広い視野に立った様々な地域医療の現場を経験することが可能</p>  <p>健康管理センター</p>  <p>検診風景</p>

宿舎	宿舎を希望する場合は、事前にご連絡をお願いします。自己負担金有（光熱水費等）。
研修期間	5月～2月の1～2カ月
病院紹介	<p>横須賀市立市民病院は、昭和38年（1963年）12月市立武山病院として開設以来、46年の長きにわたり、地域での良質で誠実な医療を提供することを目標に運営してきました。当院の基本方針の一つに「地域医療機関と密接に連携し、医療水準の向上に貢献する。」という項目があります。これに基づき、横須賀市、三浦半島西部地区の中核的病院として、地域医療の向上のため、病院機能の充実を図りながら、急性期中心の医療を提供してきました。地域医療支援病院としては医療、保健、福祉機関と連携し横須賀市、三浦半島西部地区における地域医療の推進にさらに邁進していく所存です。</p> <p>基幹型臨床研修指定病院として初期研修医の研修・教育は言うに及ばず後期研修、その後の専門医、指導医を目指す医師の研修・教育も推進しております。地域医療の発展のためには、その中心となる医師の資質、能力などが問われますが、この点に留意しながら、医師の「モチベーション」を常に高めるような診療体制を築いていきたいと思ひます。また、医師、看護師等の人材育成については特に注意し、最重点課題として積極的に取り組んでいかなければならないと思ひます。風光明媚、山紫水明（風致地区）の地である三浦半島西部地域における研修で common disease を制覇しましょう。</p>
指導医から	<p>コメント：</p> <p>当院では、プライマリ・ケアの重要性をしっかりと捉え、プライマリ・ケアに対する考え方を身に付けることを目指しています。</p> <p>地域医療機関の先生方の御協力により、平成18年9月に地域医療支援病院の認定を受けており、地域連携を通して種々の多彩な背景を持つ患者さんが受診しますので、研修医の先生方は、診察、検査、診断そして治療に十分携わることができます。その際、各診療科の指導医から直接マンツーマンの指導を受けることが可能です。common disease の習得には、最適な条件が揃っています。</p> <p>また、CPC、cancerboard をはじめとして各種カンファランスも随時開催し、研修効果を上げる工夫もしています。各診療科では、up to date な課題についてミニカンファランスなどで情報提供を図ります。刻々と変化する医療情勢・医療経済についても随時情報提供することとしています。</p> <p>研修の選択肢を幅広く設定しており、初期研修に臨む研修医の先生方に実り多い研修を提供できればと考えております。当院での初期臨床研修で医師として成長していくための強い基盤を身に付けましょう。</p> <p>求めるドクター像：</p> <p>最後まで責任を持ち、誠実な医療を展開できる先生</p>



久保 章管理者

亀田 久仁郎副院長
(初期臨床研修プログラム責任者)

研修風景

研修責任者	総病院長 小澤 幸弘
研修担当者	診療部長 木谷 勇一
事務担当者	総務課 南
連絡先	電話 046-882-2111 (代表) FAX 046-881-7527 E-mail byouin0101@city.miura.kanagawa.jp
住所	〒238-0222 神奈川県三浦市岬陽町4番33号
アクセス	京浜急行三崎口よりバス(2番乗り場)より10分 米町下車徒歩8分 タクシー15分
その他	週1回当直あり。 休日:土曜日、日曜日、祝日 車通勤:可 駐車場あり
研修開始前に必要な手続き	初日8時医局に集合
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、研修評価表、健康保険証、印鑑、金融機関通帳の写し、診療に必要なもの(病院の名札、白衣、聴診器、仕事用の靴など)
宿舎	宿舎を希望する場合は、事前に連絡が必要 宿舎近くに駐車場が必要な場合は実費負担
研修期間	6月～2月の1～2カ月間
研修内容	指導医とともに「三浦ならではの」の地域医療を研修できます。 ・外来患者及び入院患者の診療 ・救急外来診療 ・健診外来・予防接種外来業務 ・在宅医療 ・夜間救急診療 *幅広く地域医療が体験できるよう、研修指導責任者が、みなさんの希望を取り入れた研修予定表を作成します。
病院紹介	当院は、三浦半島の最南端に位置する三浦市唯一の急性期病院です。かつては、まぐろの水揚げ日本一の三崎港でしたが、現在人口減少とともに高齢化が進んでおり、病院の役割も変化してきています。そこで、三浦市立病院は、「三浦ならではの」の医療を目指し、医療・福祉・保健の一体化をすすめ、地域医療の確立をめざしています。



「三浦ならではの医療をつくっていききたい」という
小澤幸弘総病院長



三崎港を臨む高台にあり、眼下には豊かな緑が広がる三浦市立病院



施設紹介

病床数	136 床
診療科名	内科・神経内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・麻酔科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科
階数	地下1階・階上4階
構造	鉄筋コンクリート造（免震構造）、ヘリポート併設
指定	救急告示病院
その他	健康診断・人間ドック・脳ドック・予防医療 地域医療科による医療連携・医療相談・訪問診療業務を実施

三浦ならではの地域医療とは

《医療（診療体制）》

・総合医療の実践

それぞれの医師の専門分野を生かしつつ、総合医としての役割を担っています。

・医療施設との連携強化

当院で行える医療には限界があります。そこで、当院で完結できない場合は、横須賀の中核病院や横浜市立大学との連携を強化し、継続した医療提供できるよう努めています。

《福祉》

・地域密着型医療の確立を目指しています。

当院を核として市内診療所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム・有料老人ホームなどの介護施設、市保健福祉部など、医療・介護の関連機関と密接に連携する「地域密着型」をめざしています。

・在宅医療の充実を目指しています。

平成22年5月1日より在宅支援病院として、平成24年4月1日からは機能強化型在宅療養支援病院として、すでにいくつかの連携の事例も実績としてあげつつあります。

《保健》

・市民の健康を守る取り組みを行っています。

当院の検査科を三浦市の中央ラボとして機能させ、三浦市民の健康データバンクを作り、それらを疾病予防に活用しています。また、積極的に健診事業を実施しています。

* 地域医療再生を実践している小さな公立病院である三浦市立病院の「三浦ならではの」の医療を経験してみませんか？

研修スケジュール
(例)


		月	火	水	木	金
1 週目	AM	オリエンテーション 救急外来 * 病棟診療	当直明け	病棟診療 救急外来	病棟診療 救急外来	病棟診療 健診外来
	PM	外科手術 当直		外科手術	救急外来	在宅医療
2 週目	AM	病棟診療 救急外来	当直明け	病棟診療 内視鏡検査	病棟診療 救急外来	病棟診療 救急外来
	PM	外科手術 当直		ERCP 検査 * 救急外来	救急外来 血管造影検査 * 予防接種外来	ICT ラウンド 救急外来
3 週目	AM	病棟診療 救急外来	当直明け	病棟診療 エコー検査	病棟診療 救急外来	病棟診療 健診外来 * 救急外来
	PM	外科手術 当直		外科手術	予防接種外来 * 医療安全管理室会議	救急外来 * 麻酔科管理
4 週目	AM	病棟診療 救急外来	当直明け	病棟診療 救急外来	病棟診療 救急外来	病棟診療 救急外来
	PM	外科手術 当直		外科手術	リハビリ訓練	整形外科手術 * 面接・評価

* は2か月目の研修内容

研修責任者	副院長 加藤 佳央
事務担当	総務課 山本 陽平
連絡先	0465-83-0351
住所	〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 866-1
アクセス	小田急線「新松田駅」下車 徒歩5分、JR御殿場線「松田駅」下車 徒歩10分
研修開始前に必要な手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に事務担当者へご連絡くだされば、必要書類のご案内をいたします。 ・特に公舎を希望する場合は事前に入居手続きが必要です。 ・研修初日は8:30に総務課に集合してください。
持参するもの	事前に必要書類等をご案内します。(例：保険医登録票、印鑑等)
研修期間	原則として、1又は2カ月
研修内容	<p>初期診療の段階でのコモンディジーズに対するEBMに基づいた診断、治療および紹介技能の基本を研修します。適切な問診、身体診察を行い、検査の感度・特異度等に配慮した上でオーダーし、的確な解釈が出来るようにします。それらの項目を、簡潔にプレゼンテーションし、上級医・専門医と意思疎通を図った上で、治療方針を決定し、複雑な問題を有する患者それぞれに対応する方法を学びます。</p> <p>地域の慢性期病院、診療所、訪問看護ステーションなどとの連携を密にし、地域全体で患者を診る地域医療を体験します。</p>
指導医より	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の特徴は、総合診療科を中心に、専門各科等とも協力して内科系の疾患に関しては臓器に偏ることなく満遍なく扱えることを理想として“臨床医はスペシャリストである前にジェネラリストであるべきである”という考え方を元に日々研鑽していることです。 ・病院の存在する地域の特性から、プライマリケア領域に関しては、豊富な疾患の診療が可能で、入院診療では診断困難例や多臓器に疾患をもつ高齢者への対応等も日常的に行っており、地域の基幹病院として、全人的な医療の実践が行えるよう日々努力しています。
当院の特徴	<p>病床数296床の中規模病院のため、在籍する医師間のコミュニケーションをとりやすく、身近に指導医がいるため、コンサルテーション等も行いやすい環境です。研修医の希望を聞き取り、プログラム責任者の副院長が、各科の責任者や県立病院群の専門病院と交渉し、出来るだけ研修医の希望に沿った研修となるように調整しています。また、定期的に研修医との連絡会を開き研修医の意見を聞き取り研修プログラムに反映させるようにしています。他にも、研修医向けの勉強会等は総合診療科を中心に早朝から連日開催しています。</p>



Ⅲ-13 富良野協会病院

研修責任者	病院長 羽根田 俊
研修担当者	副院長 角谷 不二雄 (f768fk@furano.ne.jp)
事務担当者	事務部次長 嶋田 信一 (fkhsoumu@wine.ocn.ne.jp)
連絡先	電話 0167-23-2181 FAX 0167-22-4256
住所	〒076-8765 北海道富良野市住吉町 1 番 30 号
アクセス	旭川空港より空港バスで 1 時間 富良野駅前下車徒歩 5 分 
その他	病院内でインターネット使用可能
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、白衣、銀行の口座番号、研修評価表
宿舎	2LDK（トイレ、ユニットバス）、水道光熱費の負担なし 布団、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ無料貸し出し （食事は個人負担、その他は原則として個人負担なし） ※荷物を宅急便で送る場合は、発送前に病院へ連絡し病院宛に発送
研修期間	2 年次 1 ～ 2 カ月希望により延長可
研修内容	救急医療から終末期医療、新生児から老人まであらゆる分野の研修が可能
施設の紹介	当院は、富良野二次医療圏の地域センター病院に指定された圏域唯一の総合病院であり、時間外救急医療の場合は当院に一元化されています。そのため偏りのないさまざまな病態の診療を経験することができます。各科の壁がなく、幅広い視野からの診療を経験でき、プライマリーケアの習得には最適と言えます。



研修医によるBLS トレーニング



Ⅲ-14 松前町立松前病院

研修責任者	院長 木村 眞司 (shkimura@sapmed.ac.jp)
研修担当者	院長 木村 眞司 他
事務担当者	主査 佐々木 弘幸 (hiroyuki.sasaki@town.matsumae.hokkaido.jp)
連絡先	松前町立松前病院 事務局 佐々木主査 電話 0139-42-2515 E-mail hiroyuki.sasaki@town.matsumae.hokkaido.jp
住所	〒049-1503 北海道松前郡松前町字大磯 174-1
アクセス	函館空港または函館駅から送迎します（それぞれ 105 キロと 95 キロ、車で 2 時間）
その他	宿舎無料。3 食無料。インターネットは院内でアクセス可能。
必要な手続き	医師免許証、保険医登録票、履歴書。1 カ月前までにメールを事務まで。
持参するもの	パソコンがあると便利です。健康保険証。印鑑。もちろん白衣と聴診器。上履き。
研修期間	2 年次 1 カ月から 3 カ月まで。
研修内容	<p>【是非松前に！】</p> <p>北海道最南端の松前町で、地域医療を体験してみませんか？ 函館の中心部から 95 キロ離れた松前町は、江戸時代からの城下町です。人口 8,100 人。心温かい住民が皆さんをお迎えします！ 自然に恵まれ、気候は春から秋は温暖なよいところです（冬は風が強めです。日本海側です。）。海の幸も大変美味です（ウニ、アワビ等）。</p> <p>【スタッフはジェネラリスト】</p> <p>松前病院のスタッフ医師は「全科診療医」7 名。皆、幅広く診療する総合診療医です。</p> <p>【地域で唯一の入院施設】</p> <p>松前病院は松前町と隣の福島町で唯一の入院施設です。診療圏は約 1 万 4 千人。病床は一般病床 100 床。24 時間 365 日患者を受け入れています。</p> <p>【教育を重視】</p> <p>卒前卒後教育も重要な任務です。松前病院では、年間に医学生約 30 名、初期研修医約 25 名が実習や研修に訪れます。</p> <p>【豊富なカンファレンス】</p> <p>火曜から金曜日まで朝 7 時半からカンファレンスがあります（別表）。</p> <p>【インターネットで全国をつないで学習会！】</p> <p>松前病院と札幌医大地域医療総合医学講座が中心となり、毎週水曜と木曜の朝、インターネットで全国をつないで学習会をしています。水曜日の『プライマリ・ケアカンファレンス』は持ち回りで全国の症例を皆で共有します。木曜日の『プライマリ・ケアレクチャーシリーズ』はプライマリ・ケアに関連する講義を全国の参加者が持ち回りでやっています。毎回 100 を超える施設が参加しています。</p>



インターネット上での学習会の例



インターネットで行なっている学習会の様子



カンファレンスの様子

研修内容

【研修内容】

病棟研修（数名の患者を指導医と共に受け持ちます。土日でもできるだけ病棟回診をすることが望ましいと考えています。）

外来研修（内科外来・外科外来を見学します）

救急医療（救急患者の対応に当たります）

当直（指導医と一緒に当直します。当直料は支給されません。）

訪問診療（指導医と共に）

老人ホーム回診（同）

へき地診療所での診療（同）

松前を食べる実習（必修。三久本店「松前浜ちゃんぽん」、おくむら食堂「あん正油五目ラーメン」「豚丼」。）

農業実習（オプション。ハウスでの野菜作り。）

釣り（オプション。9-11月の小アジ釣り。）

〈勉強会など〉

	月	火	水	木	金
07:30-08:00	—	入院 カンファレンス	プライマリ・ケア カンファレンス	プライマリ・ケア レクチャー	入院 カンファレンス
08:00-08:30	医局ミーティング、 朝礼			外来カンファ・ 医局勉強会	



松前病院



江良（えら）診療所



桜とメジロ。松前には野鳥も沢山います！



おくむら食堂での実習



時には院長宅で飲み会も



松前町中心部を見下ろす



ガンビ岱からの夕日

Ⅲ-15 公立相馬総合病院

研修責任者	病院長 熊川 宏美
研修担当者	副院長（プログラム責任者）佐藤 雅彦
事務担当者	総務課 佐久間 徹
連絡先	電話 0244-36-5101 FAX 0244-35-5819 E-mail : psgh-iji@bb.soma.or.jp
住所	〒976-0011 福島県相馬市新沼字坪ヶ迫 142
アクセス	<p>JR 相馬駅より徒歩 10 分 なお、震災被害により、常磐線は、現在、一部区間が不通となっており、亘理駅から代行バスが運行されております。</p> 
研修開始前に必要な手続き	特になし
持参するもの	白衣、聴診器、医師免許証と保険医登録票のコピー、病院の名札、印鑑、健康保険証
研修期間	1 ヶ月 1 回 1 名 研修時期については、別途相談します。
研修内容	主に内科（循環器科、消化器科）、小児科、外科にて、研修医の希望を取り入れながら研修を行います。
指導医より	<p>当地域は、過疎化、高齢化が急速に進行しています。この状況は、これから迫りくる日本の将来の姿を連想させます。都市部の大病院が集約化、合理化された現代医療を提供するのにに対し、我々は地域に根ざした医療を実践しています。地方の病院が提供する医療現場を体験することにより、これからの日本の医療のあり方を考えるキッカケになればと考えております。救急医療を含め、手技的なことは十分体験できます。我々と一緒に知恵を出し合いましょう。</p>
その他	<p>◎宿舎は準備しますが、震災復興に伴い住宅事情が逼迫しておりますので、早めにご連絡ください。 ◎当院は平成 24 年 9 月に基幹型臨床研修病院に指定された臨床研修では歴史の浅い病院です。 このような中、皆さんの先輩が、平成 26 年度研修第一期生として、さらに、平成 27 年度も 1 名の先輩が当院を研修先を選び頑張っています。</p>



【病院外観】



【研修風景】

研修責任者	院長 松原 要一
研修担当者	総務課 星 soumukatyou@niirou.jp
連絡先	電話 025-543-3123 FAX 025-544-5210
住所	〒942-8502 新潟県上越市東雲町 1-7-12
アクセス	東京駅から上越新幹線乗車 越後湯沢駅にて“ほくほく線”に乗り換え直江津駅下車 南口から徒歩5分
その他	病院内では医師用PCでインターネット使用可能 当直業務に従事した場合は、新潟労災病院から当直代が支給されます。
研修開始前に必要な手続き	8時15分に病院3階総務課に集合
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、 健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、白衣、 銀行の口座番号、研修評価表
宿舎	新潟労災病院での研修期間 敷地内又は病院近隣に宿舎（駐車場含む）有り（食事は個人負担。その他は原則として個人負担なし） 新潟県立柿崎病院での研修期間 新潟県立柿崎病院で準備します（食事は個人負担。その他は原則として個人負担なし） ※荷物を宅急便で送る場合は、発送前に病院に電話連絡してから、病院宛に送ってください。
研修期間	2年次の6月から12月までの任意の2カ月間（8週間）
研修内容	6週間：新潟労災病院で地域の救急医療・急性期医療を重点的に研修（地域医療支援病院360床） 以下の3コースから希望のコースを選択する。 Aコース 脳外科・整形外科各3週間 Bコース 脳外科6週 Cコース 整形外科6週間 2週間：新潟県立柿崎病院 上越市柿崎区柿崎6412-1 JR信越本線柿崎駅から徒歩15分 78床 県立柿崎病院での研修の目標 地域の人口構成、地勢、交通事情の概要を説明できる 地域に根ざした包括的、継続的医療とは何かを説明できる 病院、診療所、介護老人保健施設、介護老人福祉施設の役割を説明できる

研修医による紹介

最初に病院の所在地を紹介します。新潟県上越市の直江津は、横浜からクルマで片道約5時間。スキー場でお馴染みの妙高杉の原の北にある上越市の北にあり、日本海に面した町です。町の北には水族博物館という水族館なのか博物館なのかよく分からない館がある普通の町です。クルマがあれば不自由しないくらい店は揃っていますが、金曜の夜でも町は暗いです。研修と病院について。研修内容は整形外科、脳神経外科から選べます。360床で、内科と整形で3分の1ずつ、残りの半分を脳外、残りという感じです。新潟大学と産業医大の出身の先生が多く、優しい先生ばかりです。整形外科研修の1日の流れは朝、猛スピードの画像のカンファ、その後外来と病棟の患者の処置、その後外来見学。午後はオベに入るという感じ、8時半から18～20時くらいまでの勤務です。土日はフリーです。外来は結構勉強になるし、処置では包帯やシーネを巻かせてもらったりしています。ちなみに高齢の患者さんの新潟弁はよく分かりません。最後に整形の先生からの一言、スキー場近くの病院には毎年スノボに来た若者が脊椎圧迫骨折でたくさん来て、そのうち数人前後が下半身麻痺になると言っていました。スノボは怖いですね。



病院全体の航空写真



病院正面写真



練習キットを用いた顕微鏡手術の指導



第2回新潟県Medical Rallyで優秀賞を獲得

研修責任者	病院長 竹内 敏明
研修担当者	理事長 加藤 俊夫
事務担当者	事務長 別所 義樹 bessyo@toyama-hp.or.jp
連絡先	電話 059-227-6171
住所	〒514-0043 三重県津市南新町 17 - 22
アクセス	新横浜から津新町まで約 2 時間 30 分 名古屋で近鉄名古屋に乗り換え津新町下車徒歩 5 分
その他	隔週土曜日の勤務あり 4 週 8 休を原則とする。 遠山病院と宿舎には駐車場はありません。 病院内では医師用 PC でインターネット使用可能
研修開始前に必要な手続き	原則、研修初日 13 時に病院受付に集合
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、白衣、銀行の口座番号
宿舎	遠山病院から徒歩 15 分 宿舎あり（無料）インターネット接続ケーブルテレビ設置 宿舎の利用を希望しない場合は、1 カ月前までに臨床研修センターに連絡ください。 日用雑貨の準備および宿舎退去時の清掃費用として 5,000 円を負担してください。 荷物を宅急便で送る場合は、発送前に病院に電話連絡してから、病院宛に送ってください。
研修期間	原則 1 または 2 カ月
研修内容	<p>内科研修</p> <p>地域住民のホームドクターとしてプライマリケア診療を実践するとともに、各医師の専門を活かした診療を行っています。内科疾患全般の初診時の医療面接から鑑別診断、治療の実践、治療効果の判定まで、患者中心の医療の真髄を研修してください。救急医療については市内の 1、2 次救急を担っており、的確な診断、迅速な対応を実地に研修することができます。</p> <p>外科研修</p> <p>腹部消化器外科、肛門外科、乳腺外科を専門としており、内視鏡件数は上下部合わせて年間 8,000 例です。内科と共同して、地域の 1、2 次救急を担っており、急性腹症、外傷の症例を多数経験することができます。外科医として診断から手術まで関わるのはもちろん、当院の特徴として術後長期に渡る診療も担当し、時に終末期医療においても主治医となります。患者さんの人格を尊重し、患者さんと家族の気持ちを理解した全人的医療を研修して欲しいと思います。</p>

研修医による紹介

遠山病院は 200 床弱の病院で、常勤医師数も 20 人ほどの小規模病院ですが、外来はいつも人がごったがえしており、救急対応も含め地域の基幹病院として重要な病院です。

私は内科・外科 1 カ月ずつ 2 カ月の研修をしました。内科研修では病棟で患者さんを受け持ち、1 カ月間で沢山の患者さんを診る事ができ、印象深い症例を数多く経験しました。さらに平日日中の救急当番と、週 1 日の当直ないしは休日日直をしました。小さな病院ですのでどんな患者さんが入院したかという情報がすぐ耳に届き、自分が受け持ちでない患者さんでも興味があればいくらかでも教えてもらえます。逆に自分の診ている患者さんについても担当以外の先生もいろいろと相談に乗っていただきました。

都会と比べると医師のマンパワー不足は否めません。しかしコメディカルの方々のすばらしい働きもあり、この人数・設備で可能な、あるいはそれ以上の医療を最大限提供しているのだなと思いました。

研修中はレオパレスの 1 室を準備していただき、家具つき、ネットつなぎ放題、と不自由無い生活を送っています。ちなみに津市内にレオパレスが乱立しているのでびっくりしました。

遠山病院のスタッフより研修医の皆さんへのメッセージ

遠山病院は、気候温暖な三重県津市にある特定医療法人の民間病院です。平成 19 年度から横浜市立大学附属病院の地域医療研修施設として、横浜市立大学臨床研修医の皆さんの受け入れが始まりました。遠山病院は、ベッド数 200 床弱の小規模病院ですが公立の総合病院が三重大学付属病院を含めて 2 病院のみの津市にあって、地域救急医療の大きな役割を担っています。また、日本医療機能評価機構の認定病院であり、内科、外科各学会の研修医修練施設の施設認定も整っています。研修医の皆さんにとって、単に地域保健医療の研修にとどまらず、内科および消化器外科の分野において、多数の Common disease の経験からプライマリ・ケア、さらに専門的な診療まで、これから医師としてのキャリアを積み重ねる中で「根雪」となって残るような研修になってほしいと願っています。研修の 1 カ月はすぐに過ぎてしまいます。三重の風物に親しむ時間も含め、どうぞ 2 カ月間の研修に来てください。



昭和三十年開設後 59 年の長い歴史がある遠山病院



病院東隣にある更衣室棟にある研修医室



個室でじっくりと研修が出来ます。
パソコン、インターネット環境も
整備しています。

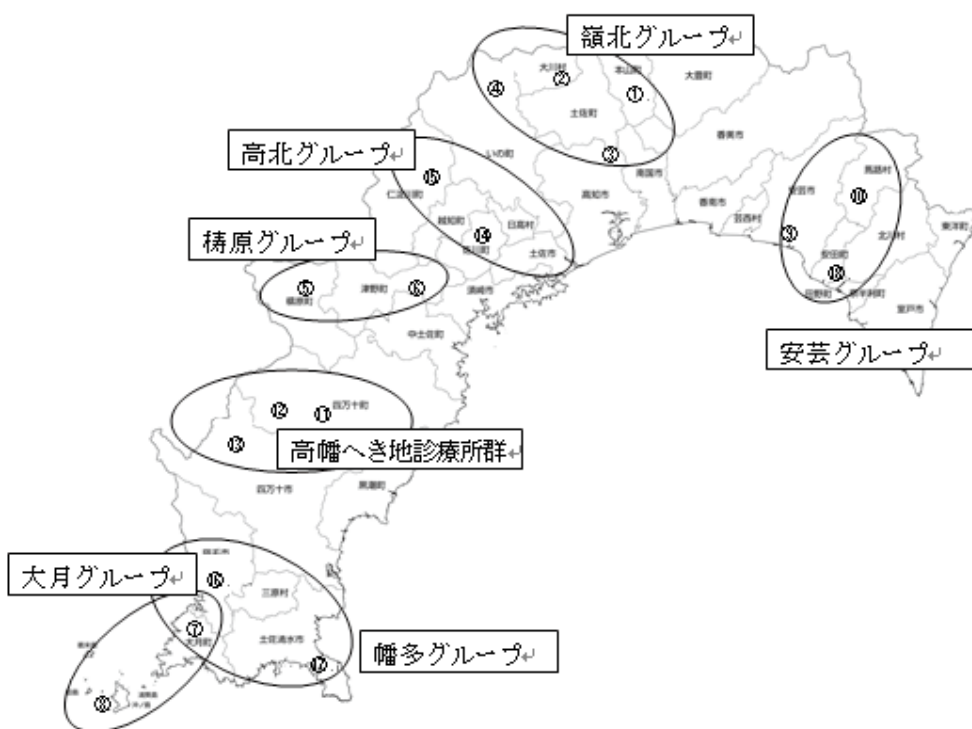
Ⅲ-18 高知県 病院グループ

連絡先	電話：088-822-9910 FAX：088-855-5881 一般社団法人高知医療再生機構 医療再生事業部
事務担当者	岡林 まり子
住所	〒780-8570 高知県高知市丸の内 1-2-20 高知県庁本庁舎内

高知医療再生機構（法人）が高知県内の研修病院・施設を統括し、全国の研修医を受け入れています。
5つの病院グループのいずれかで1～2カ月の研修をしてください。

高知県の研修病院グループ

- 1 嶺北グループ
- 2 梶原グループ
- 3 大月グループ
- 4 安芸グループ
- 5 高北グループ
- 6 幡多グループ



◇嶺北グループ

基本的には、国保嶺北中央病院の医師として在籍し（出張診療所を含む）、一般外来や各種検査、入院患者や在宅訪問診療などを中心とした研修を行います。患者数の多い医療機関であり、入院や救急医療、臨床検査のスキルアップなどを中心に学ぶ環境としては適した環境にあります。関連するへき地診療所としては1か月研修では大川村小松診療所（中山間地域）や土佐町黒丸地区無医地区巡回診療、本山町汗見川へき地診療所、いの町国保長沢診療所、高知市土佐山へき地診療所などで中山間地域にある無床の一人診療所研修を行うことができます。



◇基本スケジュール

本山町立国保嶺北中央病院

第 1 週

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション	検査見学・病棟	病棟・外科	病棟・ 汗見川診療所	入院検討会 整形外科
午後	病棟&大豊園	病棟&訪問診療	病棟&訪問診療	黒丸診療 (無医地区巡回診療)	病棟・嶺北荘
(時間外)		入退院検討会 抄読会	介護認定審査会		

第 2 週

	月	火	水	木	金
午前	透析・検査 見学・病棟	透析・プライミング 産婦人科	検査見学・病棟	病棟・ 汗見川診療所	入院検討会 脳外科
午後	特定検診・住民健診	褥創・NST 回診	リハビリ	NST ミーティング・ 病棟&訪問診療	病棟&訪問診療 しゃくなげ荘・リハカン
(時間外)		入退院検討会 抄読会			

第 3 週

	月	火	水	木	金
午前	大川村診療所 (長沢診療所)	検査見学・病棟	大川村診療所	病棟・デイケア (通所リハビリ施設)	土佐山診療所 (大川村診療所)
午後	病棟&大豊園 (長沢診療所)	病棟&訪問診療	病棟&訪問診療	病棟&大豊園	土佐山診療所 (大川村診療所)
(時間外)		入退院検討会 抄読会		勉強会 (不定期)	

第 4 週

	月	火	水	木	金
午前	検査見学・病棟	皮膚科	病棟・泌尿器科	病棟 汗見川診療所	入院検討会 検査見学・病棟
午後	病棟&大豊園	褥創・NST 回診	病棟&訪問診療	手術 (整形外科)	NST・病棟&訪問診療 しゃくなげ荘・リハカン
(時間外)	Web 会議	入退院検討会 抄読会			総 括

国保嶺北中央病院



大川村国保小松診療所



いの町国保長沢診療所



高知市土佐山へき地診療所



本山町汗見川へき地出張診療所



Ⅲ-18 高知県 病院グループ

幡多グループ

◇医療機関マップ



①へき地等にある地域中核病院研修：大井田病院

(関連する出張診療所、社会福祉施設、介護老人保健施設等の研修を含む)

第1週

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション	内視鏡検査 見学	健診（診察・内視鏡・ 超音波検査）	外来・検査 健診	乳幼児健診
午後	病棟 千寿園回診	病棟 地域連携室	予防接種 往診	訪問診療	病棟回診 小括
	地域セラピスト 勉強会		症例検討会		

第2週

	月	火	水	木	金
午前	外来・検査 病棟回診	外来・検査、健診 (沖の島診療所研修)	通所リハビリ (沖の島診療所研修)	外来・検査 健診	外来・検査 健診
午後	千寿園回診 ダイケアセンター	NST 回診 褥瘡回診 (沖の島診療所研修)	病棟 (沖の島診療所研修)	訪問看護 訪問リハビリ	理事長回診 総括
	2次救急病院 メディカル コントロール協議会		多職種 カンファレンス		

②へき地等にある地域中核病院研修：渭南病院

第3週

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション	外科外来	外科外来	整形外科外来 内科外来	往診
午後	往診、病棟回診 特老「しおさい」	内視鏡検査 脳外科外来	小児科外来	内視鏡検査、往診 特老「しおさい」	病棟回診 小括

第4週

	月	火	水	木	金
午前	脳外科外来	小児科外来	外科外来	内科外来	往診
午後	往診、病棟回診 特老「しおさい」	内視鏡検査 乳児検診	小児科外来	内視鏡検査、往診 特老「しおさい」	病棟回診 総括
	救命講習				

柏島の海



カツオのたたき



大井田病院 指導医の皆様



Ⅲ-18 高知県 病院グループ

宿舎の概要

	大月病院	橋原病院	嶺北中央病院
宿舎の種類	医師住宅	病院職員住宅	病院職員住宅
住所	幡多郡大月町弘見1560-1	高岡郡橋原町川西路2314-1	長岡郡本山町本山620
間取り	6畳、台所、バス、トイレ（水洗）	木造2階、6畳、6畳、8畳、台所、バス、トイレ（水洗）	6畳、4.5畳（台所）、バス、トイレ（水洗）
設備	照明、ガスコンロ、カーテン、冷蔵庫	照明、ガスコンロ、カーテン、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、電子レンジ、エアコン	エアコン、照明、テレビ、冷蔵庫、電気コンロ、カーテン、布団、机、ソファ、洗濯機、ロフトあり
利便性	病院敷地内	病院まで歩いて1分	病院まで歩いて1分
家賃	1カ月以内5,000円（光熱費として）	1カ月5,000円（光熱費込み）	1カ月5,000円（光熱費込み）
備考	○研修期間中利用可能 ○洗濯機、乾燥機は病院内にはある	○研修期間中利用可能	○研修期間利用可能 ○病院の前にスーパー、郵便局あり

病院紹介

施設名	橋原町国民健康保険橋原病院	本山町立国民健康保険嶺北中央病院
標榜診療科名	内科、小児科、整形外科、眼科	内科、外科、リウマチ科、脳神経外科、泌尿器科、肛門外科、産婦人科、リハビリテーション科、整形外科、皮膚科
救急室	無し	有り
当直体制	医師2名（うち1名サブ）、看護師2名	医師1名、看護師1名（病棟は別）
病床数	一般30床	一般59床、療養52床、結核20床
年間入院患者数	内科160	内科705、外科10、整形外科78
研修医の宿舎	有り	有り
図書室	無し	有り
常勤医師	内科5	内科6、外科1、整形外科1
指導医名 もしくは指導者名	内田 望（18年） 盛實篤史（8年） 石田青馬（6年）	佐野正幸（26年） 藤岡一平（41年） 市川純一（41年） 宮崎 修（11年） 吉村彰人（10年） 川村欣之（19年） 稲垣健志（10年）
非常勤医師	整形外科、眼科（高知大学）、小児科（近隣診療所兼務）	内科、産婦人科、外科、泌尿器科、脳神経外科、皮膚科、 整形外科（高知大学）
関連する へき地診療所	津野町杉ノ川診療所 橋原町四万川診療所 橋原町松原診療所	大川村小松診療所 いの町長沢診療所 高知市土佐山へき地診療所
病院と町の紹介	雲の上温泉、四国カルストなどが近くにあり、四国山脈に囲まれた雄大な自然を満喫できます。坂本龍馬脱藩の道など史跡も多くあり、棚田や風力発電などでも知られた地域です。津野山神楽も有名です。	四国のへそ（中心）ともいえる場所に位置し、四国の水がめと呼ばれる早明浦（さめうら）ダムがそばにあります。病院のすぐ後ろには吉野川が流れ、自然豊かな土地です。大原富枝文学館や俳句の道など、文学の世界が広がる町です。
高知市からの時間 （車）	約90分	約50分

	大井田病院	渭南病院
	病院職員住宅	借り上げ住宅
	高知県宿毛市中央4-2-3	高知県土佐清水市汐見町23-18
	6洋、4洋DK、バス、トイレ（UB）	3LDK、バス、トイレ別
	電気コンロ、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、カーテン、小テーブル、ベッド、掃除機、布団、ブルーレイレコーダー、空気清浄器（加湿付）、洗濯機（共用）、シャンプー、リンス、ボディソープ、自転車貸出あり（無料）、自動車（土日のみ）貸出あり（無料） インターネット環境有（PCは持参してください）	電気コンロ、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、カーテン、小テーブル、ベッド、掃除機、布団、ブルーレイレコーダー、空気清浄器（加湿付）、洗濯機、簡単な調理器具等 インターネット環境有（PCは持参してください）
	病院まで徒歩5分	病院まで徒歩5分
	1か月以内2,500円（光熱費として）	1か月以内2,500円（光熱費として）
	最寄駅まで送迎あり	最寄駅まで送迎あり

	大井田病院	渭南病院
	内科、循環器内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、リハビリテーション科、	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、心療内科、外科、消化器外科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、糖尿病内科、麻酔科
	有り	有り
	医師1名 看護師3名 助手1名	医師1名 看護師1名
	94床	105床
	631	957
	有り	有り
	有り	有り
	5（内科2、小児科1、外科2）	5（外科2、脳神経外科1、内科1、小児科1）
	大井田二郎（40年） 福森信彦（22年） 田中公章（18年） 矢野哲也（15年） 澤田晴生（13年）	溝渕敏水（21年） 溝渕玲子（49年） 計田一法（30年） 梶田 健（22年目） 瀧渦正司（20年目）
	第2内科、循環器内科、整形外科、皮膚科	第1内科、第2内科、第3内科、老年病科、心療内科、第1外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科
	沖の島診療所	
	高知県西部の宿毛市（すくもし）にあります。海と山と川に囲まれ、自然に富んだ地域です。近隣には沖の島や柏島といったマリンスポーツのメッカや、最後の清流として有名な四万十川があります。	四国の最南端に位置する土佐清水市にあります。足摺岬やあしずり温泉、金剛福寺等を有し、古くから観光地として知られています。新鮮な魚が食べられて、山よりも海が好きという人にはお薦めの研修地です。
	約2時間半	約2時間45分

Ⅲ-19 平戸市民病院

研修責任者	病院長 押淵 徹
研修担当者	准教授 中桶 了太 (nakaoke@nagasaki-u.ac.jp)
事務担当者	度島 容子 (hekichibyoinsaisei@gmail.com)
連絡先	長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 地域臨床教育拠点 平戸 電話 0950-20-3006 FAX 0950-20-3007 URL http://hekichi-byoinsaisei.net/
住所	〒 859-5393 長崎県平戸市草積町 1125-12
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎空港から佐世保駅まで乗合タクシーで 55 分 ・佐世保駅から平戸桟橋までバスで 1 時間 30 分 ・平戸桟橋から平戸市民病院まで 40 分 <div style="display: flex; align-items: center;">   <div style="margin-left: 20px;">  <p>平戸川内峠</p>  <p>根獅子の浜</p> </div> </div>
その他	休み：土日祝日 敷地内に宿舎有り（間取：1DK 備品等、ネット完備 PC はご用意ください）
研修開始前に必要な手続き	医師免許証・保険医登録票・履歴書等の写 研修医ご本人より、開始 3 週間前までに事務担当にご連絡ください。
持参するもの	白衣、印鑑（シャチハタ可）、聴診器、病院の名札、スニーカー等
研修期間	原則 1 または 2 カ月 希望により延長可
特徴あるプログラム	<p>長崎県北部に位置する平戸市の平戸市民病院に教育拠点を設置しています。</p> <p>ターゲットは慢性期、高齢者、在宅医療</p> <p>外来では慢性期の疾患管理、急性増悪の対応や合併症予防などの対応が必要です。また、高齢者は複数の疾患の治療を受けており、臓器別専門に加えて個人の既往歴や生活環境に配慮した診療を学びます。自宅で療養中の患者さんを訪問することで、生活環境や家族背景を知り、今後のキャリアに活かします。このように患者さんに配慮した医療を学ぶことができます。</p> <p>地域包括医療・ケア</p> <p>保健、福祉と医療が連携し、患者さんを切れ目なく支えていく体制です。 平戸市の保健センターと連携しており、事業所健診も担当しています。</p> <p>多職種連携</p> <p>病院のスタッフ数は少ないですが、職種を超えた連携や協力体制が充実しています。他の専門職と一緒に仕事を行い、連携の方法や意義について学べます。</p>

施設の紹介

我々の講座は、長崎大学病院の地域医療部門です。診療のフィールドは長崎大学から車で2時間30分、長崎県の北西（九州本土の市では最西端に位置する）にある平戸市の平戸市民病院です。平戸市民病院は平戸市中南部で唯一入院施設を備えた医療機関です。また、健診事業や在宅支援、地域包括医療ケアも積極的に行う病院です。平成17年度に、文部科学省のGP“地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成プログラム”に採択され、平成20年度からは平戸市と長崎県の支援を受け、ここで地域医療人や総合医療育成を行っております。初期研修医の地域医療研修を各地（神鋼記念病院、京都医療センター、横浜労災病院、長崎大学病院、長崎済生会、広島鉄道病院、横浜市立大学、日生病院、横浜市立市民病院、埼玉医科大学病院、西神戸医療センター、北里大学病院、静岡済生会総合病院など）から受け入れております。平成27年は12病院から32名初期研修医が平戸市民病院で地域医療研修を行いました。

施設紹介



病院外観



宿泊部屋

医師紹介



押淵病院長



調機構長



中桶准教授

研修スケジュールの例

	月	火	水	木	金
午前	健診（診察・エコー）				
	外科外来	新患外来	エコー・内視鏡	内科外来	新患外来
午後	病棟回診	訪問診療	NST回診 医局カンファレンス	訪問診療	訪問リハビリ or 訪問看護
時間外	デイリーカンファ（1日の振りかえり）				

夜、月に2回、出前（健康）講座に出かけます。

他に放射線科実習、検査科実習、離島研修、ケアマネ訪問、各種講義があります。

研修中の様子



新患外来



事業所健診でのエコー実習



内視鏡検査実習



訪問診療



出前講座



乳児健診

研修責任者	病院長 柿添 圭嗣																																																											
研修担当者	診療部長 柿添 三郎																																																											
事務担当者	事務長 溝口 智之（mizoguchi@kakizoehospital.or.jp）																																																											
連絡先	電話 0950-23-2151 FAX 0950-22-5131 URL http://www.kakizoehospital.or.jp/																																																											
住所	〒 859-5152 長崎県平戸市鏡川町 278																																																											
アクセス	車をご利用の場合 ・博多～唐津～伊万里～柿添病院（都市高速 前原道路・西九州自動車道通る） （所要時間：2 時間半） ・西九州自動車道～武雄北方 I C～下車～柿添病院 （所要時間：3 時間） J R ご利用の場合 ・博多～佐世保（J R 九州特急で 1 時間 50 分） バスをご利用の場合 ・佐世保～平戸市役所（半急バスで 1 時間） →徒歩 1 分 ・チャンネルシティ博多～平戸桟橋（YOKARO バスで 3 時間）																																																											
研修開始前に必要な手続き	医師免許証、保健医登録票 研修医ご本人より、開始 1 週間前までに指導医の柿添由美子に電話でご連絡ください。																																																											
持参するもの	白衣、スクラブ、聴診器、スニーカー等、印鑑																																																											
研修期間	原則 1 カ月 希望により延長可																																																											
施設紹介	柿添病院は 1951 年に開設し、当地区での 2 次救急病院として地域の急性期疾患の医療に携わりながらリハビリ、在宅医療、通所リハビリと慢性期療養医療の必要性を感じながら関連病院あるいは施設とともに地域の医療を支えております。2008 年より九州医療センターから初期研修医の地域医療研修を開始し、現在九州中央病院、済生会八幡病院もプログラムに参加しています。2014 年から、ながさき県北地域医療教育コンソーシアムに加わり静岡済生会総合病院、西神戸医療センター、京都医療センターからの研修医も加わりました。研修を終えた先生方の感想で医療人として一回り大きくなれたと同時に病院で出る食事ばかりか平戸のグルメも味わい、実体重も増加したというものが多く、我々教育スタッフも喜びを感じています。オフタイムは平戸の歴史の散策もできるスイーツを楽しむこともできます。海産物はもとより平戸牛（長崎和牛）も有名です。当院の優しいメディカルスタッフがコンシェルジュになって待っています。																																																											
研修内容	<table><tr><td></td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr><tr><td>朝</td><td></td><td></td><td>ドーナツ カンファレンス</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">午前</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>病棟</td><td>健診</td><td>内視鏡</td><td>健診</td><td>健診</td></tr><tr><td>腹部エコー</td><td>特養施設回診</td><td>外来</td><td>腹部エコー</td><td>外来</td><td>外来</td></tr><tr><td rowspan="3">午後</td><td>通所リハ回診</td><td>通所リハ回診</td><td>通所リハ回診</td><td>通所リハ回診</td><td>通所リハ回診</td><td>通所リハ回診</td></tr><tr><td>手術・麻酔</td><td>医局会</td><td>手術・麻酔</td><td>病棟</td><td>病棟</td><td></td></tr><tr><td></td><td>症例検討会</td><td></td><td>外来</td><td>外来</td><td></td></tr><tr><td>夕</td><td></td><td>院内勉強会</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>週 1 回程の当直実習、ドーナツカンファレンス、キャンサーボード その他附属中野診療所研修、訪問診察、通所リハビリテーション、度島への訪問リハ同行、特別養護老人ホーム回診、ケアマネ訪問に同行、訪問看護に同行、 小中学校・幼稚園・保育園健診、乳児・1 歳半・3 歳児健診、5 歳児健診 口腔ケア実習、放射線科実習（希望があれば消化管透視なども）</p>		月	火	水	木	金	土	朝			ドーナツ カンファレンス				午前	包交	包交	包交	包交	包交	包交	内視鏡	病棟	健診	内視鏡	健診	健診	腹部エコー	特養施設回診	外来	腹部エコー	外来	外来	午後	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診	手術・麻酔	医局会	手術・麻酔	病棟	病棟			症例検討会		外来	外来		夕		院内勉強会				
	月	火	水	木	金	土																																																						
朝			ドーナツ カンファレンス																																																									
午前	包交	包交	包交	包交	包交	包交																																																						
	内視鏡	病棟	健診	内視鏡	健診	健診																																																						
	腹部エコー	特養施設回診	外来	腹部エコー	外来	外来																																																						
午後	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診	通所リハ回診																																																						
	手術・麻酔	医局会	手術・麻酔	病棟	病棟																																																							
		症例検討会		外来	外来																																																							
夕		院内勉強会																																																										

医師紹介



柿添 圭嗣病院長



柿添 三郎診療部長

研修中の様子



研修責任者	病院長 植田 保子
研修担当者	同上
事務担当者	総務課 用度主任 後藤 智徳
連絡先	電話 0950-57-2152
住所	長崎県平戸市田平町山内免 612-4
アクセス	MRたびら平戸口駅より、徒歩 10 分 平戸口バス停より徒歩 3 分
持参するもの	スクラブ、白衣、印鑑
研修期間	原則 1 カ月
研修内容	<p>病 院 内：入院患者受け持ち 3 名程度 各種処置：気管カニューラ交換、胃ろうチューブ交換等 外来診療、内視鏡、エコー研修 検査、レントゲン、薬剤課、栄養課、医事課、連携室、透析等実習見学</p> <p>施 設 見 学：診療：老健、養護老人ホーム、デイケア、デイサービス等 院 外 診 療：離島診療、訪問診療、訪問リハ、訪問看護 保健所研修</p>



外観



植田保子病院長

Ⅲ-22 出水郡医師会広域医療センター(旧阿久根市民病院)

研修責任者	病院長 立石 繁宜
研修担当者	診療部長、放射線科科長 堀之内 信
事務担当者	事務部長、人事・企画管理室長 尾上 博美 kikakushitu@akunehp.com
連絡先	電話 0996-73-1331 (代) FAX 0996-73-3708
住所	〒899-1611 鹿児島県阿久根市赤瀬川 4513
アクセス	<p>鹿児島空港より 空港バスで2時間 阿久根駅前下車 徒歩5分</p>  
その他	<p>4週7休を原則とする。土曜日は隔週休み。On call 当番（要請があったら登院）あり 当直業務に従事した場合は、当センターから当直代が支給されます。 病院内では医師用PCでインターネット使用可能</p>
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、白衣、銀行の口座番号、研修評価表
宿舎	<p>单身用アパート有り（1K、トイレ、ユニットバス） 布団、テレビ、冷蔵庫無料貸し出し。水道光熱費の負担なし。 ※荷物を宅急便で送る場合は、発送前に病院に電話連絡してから病院宛に送ってください。</p>
研修期間	<p>2年次の6月から2月までの1～3カ月間 同時期の受け入れ 1または2名 ※1カ月研修の場合は、20日以上研修できるよう研修の開始・終了日、休日を調整すること。</p>
研修内容	<p>内科・外科・救急 診療科：循環器科・神経内科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・麻酔科 消化器病センター・眼科・放射線科・耳鼻咽喉科 病床数：222床（一般病床） 救急外来を中心に、現場での対応をOJTで研修してください。希望に応じて各科での研修が可能です。 また、地域医師会関連病医院（僻地支援診療所の獅子島への訪問診療など）でも研修してください。</p>



研修医による紹介

当センターは医師 21 名、職員 429 名程度の地方の中核病院です。『地域』の中規模病院・・・(田舎の)と思っていくと立派な病院でかなり驚きます。研修は病棟・外来での研修、地域個人病院の見学、訪問診療、グループホーム診療、離島(船で行く)での僻地診療などバラエティ豊富です。症例は内科・外科を問わず、軽症から重症まで、初期医療から高度医療まで様々な症例を経験できます。指導に熱心な先生が沢山いらして、手術、内視鏡検査、心カテーテル検査等にも入ることができ、研修医のやる気に答えてくれる病院です。コメディカルの方々との関係もよく働きやすさを実感しました。病院の中が素晴らしいだけでなく、自然がきれい!食べ物(肉、魚、焼酎)が最高に美味い!人もいい!と研修以外にも楽しいことばかりでした。時期が合えば夏祭りや忘年会、その他イベントにも参加できます。私は都会では絶対に経験できない素晴らしい地域研修ができました。みなさんも是非、当センターで研修してください。

理 念

当院は、地域医療の中核施設として
人を大切にし、信頼される医療を目指します。

基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

患者さんの権利と責務

1. だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
2. 人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
3. 医療上の全ての個人情報は保護されます。
4. 検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
5. 診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
6. 自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
7. 病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
8. 他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

Ⅲ-23 那覇市立病院

研修責任者	照喜名 重一
研修担当者	大城 健誠
連絡先	TEL:098-884-5111（内線：8941） FAX:098-885-9596 E-mail:ryumic_nch@nch.naha.okinawa.jp 臨床研修管理室担当者：山城 迄
住所	〒902-8511 沖縄県那覇市古島2-31-1
アクセス	①那覇バス 11番 安岡宇栄原線（市内）市立病院前下車 徒歩1分 ②沖縄都市モノレール（ゆいレール）にて市立病院前駅下車 駅直結  
研修内容	主に内科、外科、救急科、小児科にての研修。 その他、上記以外の診療科をご希望の場合はご相談ください。 毎日のモーニングレクチャーや様々なカンファレンス等にもご参加下さい。 多くの症例を経験したいという方は、是非当院での研修をお勧めします。
当直	原則無し
宿舎	無し
持参するもの	評価票、白衣、聴診器、印鑑、所属先での名札
研修開始前に必要な手続き	研修開始2週間前までに、卒後臨床研修センターの事務担当者に履歴書、自己紹介票を提出してください。
病院特徴・研修に関する留意事項	那覇市を始め近隣市町村、約40万人以上の医療圏を支える中核病院としての機能を担う。平成11年には那覇市救急診療所統合により1次救急から2.5次救急まで24時間365日、一貫した医療体制を確立。平成13年に臨床研修病院指定、平成15年には（財）日本医療機能評価機構認定病院を認証。平成17年には南部保険医療圏における「地域がん診療連携拠点病院」指定を受ける。平成20年4月1日、地方独立行政法人に移行し活力のある病院運営を目指す。当院の研修はまさに on the job training。どん欲に学びたいという方、多くの症例を当院で経験してみませんか。

当院での研修の感想

～実際に地域医療研修にこられた研修医の先生より～
沖縄ならではの症例を豊富に学ぶことが出来ます！小児の症例もとても多く、若年層の脳神経血管障害もとても多いことにも大変驚きました。急病センターでは研修医が主体となって動きます。その中で大いに揉まれてください！全く知らない土地で、知らない電子カルテでの研修を存分に味わってください。また、このような環境でもカバーしてくれる熱心な指導医がいます。是非選択してみてください。



様々なレクチャーを実施しています。その一部の早朝のレクチャーを紹介します



月曜日

Case Based Learning

各科の先生が興味深い症例を紹介し、みんなで discussion する場です。臨床現場でよく立ち合うような問題に対する対処や、すぐに ER で実践できるような知識を学ぶことができます。



火曜日

内科症例検討会

初期研修医と後期研修医が実際に経験した症例をプレゼンテーションして、診断へのプロセスや治療経過についてみんなで discussion します。診断に難渋した症例や、最近の topics を紹介する場にもなり、朝からとても盛り上がります。研修の症例プレゼンテーションの訓練の場となります。



水曜日と金曜日

基礎臨床講義

1 年を通じて最も多い講義で、各診療科の先生方が講義や手技の指導をしてくれます。内科疾患だけでなく、眼科・耳鼻科疾患といったマイナー疾患、漢方薬の使い方・ギプスの巻き方など、かゆいところに手が届く講義も多く行われています。

2 年次研修医のレクチャーも設けられており、1 年次研修医が現場ですぐ役立つような内容のレクチャーをしてくれます。



木曜日

画像診断読影勉強会

放射線科の先生による熱い実践指導で、胸部レントゲンから始まり、胸腹部・頭部 CT、MRI まで、実に豊富な症例について読影することができます。このレクチャーを受けたいために那覇市立病院を選んだ人もいる程の内容です。他院の研修医や学生にも大好評。一見の価値あり。



その他

年 1 回（9 月頃）、検査技師が主催する 1 泊 2 日のエコー合宿があります。沖縄本島北部の海沿いのペンションで、エコーをみっちり学びます。医師・コメディカル、多くのスタッフが参加し、とても楽しい合宿です。エコーだけでなく、その時期に、地域医療研修で来られている先生方も一緒に参加します。



208 likes
7 visits

Daigo Yasutomi, Michiko Matsuyama and 18 others like this.



当院の研修を FACEBOOK にて
発信中 是非ご覧ください！

Ⅲ-24 社会医療法人友愛会 豊見城中央病院

研修責任者	研修管理委員長 比嘉 盛文												
事務担当	初期臨床研修支援室 川平 徹												
連絡先	電話 098-850-3811 FAX 098-850-3810 E-mail : rinken@yuuai.or.jp URL : http://www.yuuai.or.jp												
住所	〒901-0243 沖縄県豊見城市字上田 25 番地												
アクセス	<p>那覇空港よりタクシー 20 分 モノレール小禄駅よりタクシー 20 分</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>												
研修開始前に必要な手続き	研修依頼書、健康診断書（3 ヶ月以内）、履歴書、医師免許証（写） 保険医登録票（写）を研修開始 1 カ月前に提出してください。												
持参するもの	白衣、聴診器、印鑑												
研修期間	1 カ月間 5 月～2 月 1 カ月最大 2 名 年間 10 名受入												
研修内容	<p>内科研修となります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>専門分野</th><th>特徴</th></tr> <tr> <td>腎臓・膠原病内科</td><td>リウマチ性疾患が多い</td></tr> <tr> <td>循環器内科</td><td>心カテ・PCI</td></tr> <tr> <td>呼吸器内科</td><td>気管支鏡・胸部 CT</td></tr> <tr> <td>消化器内科</td><td>内視鏡検査・治療</td></tr> <tr> <td>糖尿病・内分泌内科</td><td>糖尿病・内分泌疾患が多い</td></tr> </table> <p>上記より 1 つの専門分野を選択していただき、その分野を中心に 1 カ月間研修を行います。</p>	専門分野	特徴	腎臓・膠原病内科	リウマチ性疾患が多い	循環器内科	心カテ・PCI	呼吸器内科	気管支鏡・胸部 CT	消化器内科	内視鏡検査・治療	糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌疾患が多い
専門分野	特徴												
腎臓・膠原病内科	リウマチ性疾患が多い												
循環器内科	心カテ・PCI												
呼吸器内科	気管支鏡・胸部 CT												
消化器内科	内視鏡検査・治療												
糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌疾患が多い												
指導医による紹介	<p>当院の特徴は 100 人もの指導医が研修教育に大変熱心だということです。どの診療科も毎朝 7 時半から勉強会を開き、医局の講演会や土曜日の ER カンファレンスには約 70 名が参加し、活発な質疑応答が行われています。月 2 回の群星沖縄臨床研修センター長の宮城征四郎先生の教育回診では、問診、理学所見、診断へのアプローチに関する標準的方法を学びつつ、基本的な臨床能力を磨いていくことができます。</p>												

Ⅲ-25 沖縄県立八重山病院

研修責任者	病院長 依光 たみ枝
研修担当者	医療部長 今村 昌幹 imamura_masaki@hosp.pref.okinawa.jp
事務担当者	総務課庶務係 玉那覇 和也 tamanaka@pref.okinawa.lg.jp
連絡先	電話 0980-83-2525 FAX 0980-82-1742
住所	〒907-0022 沖縄県石垣市字大川 732 番地
アクセス	新石垣空港よりタクシーで 30 分
その他	石垣島内、及び石垣島から離島の診療所までの交通費 / 離島の滞在費は自己負担となります。 病院内では共用 PC でインターネット使用可能 ※台風シーズンは飛行機が飛ばなくなって数日間缶詰となることがあります。
研修開始前に必要な手続き	①八重山病院総務課事務担当者との日程等の調整 ②八重山病院研修委員会による承認 ③研修医プロフィール、動機書等の提出
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、銀行の口座番号、研修評価表 ※白衣は病院で借りることができます。
宿舎	敷地内に宿舎有り。2 部屋、トイレ、シャワー、台所です。 離島においては、地元民宿への宿泊が必要。 ※荷物を送る場合は、発送前に八重山病院医局秘書に連絡してから、病院医局気付で送ってください。
研修期間	2 年次 1 カ月間
研修内容	地域保健医療研修 八重山医療圏で地域住民の健康を守るために、どんな医療機関・介護福祉施設・各種サービスが提供されているか学ぶ。地域に求められている保健・医療について受給者の立場も含めて検討し、自らの目指す医師像について考えレポートする。



指導医と研修医

研修医による紹介

2009年1～2月の2カ月間、沖縄県石垣島で行った地域医療研修を報告します。このプログラムは2週間の小浜島・離島診療、1週間の石垣島保健所、1週間の石垣島内の開業医、1カ月間の石垣島・県立八重山病院内科（消化器内科）研修スケジュールから構成されています。

私が石垣島に到着したのは2008年12月31日。石垣島＝南国＝常夏と思っている人は多いのではないのでしょうか？実は、年末年始にかけては雪こそ降りませんが石垣島もしっかりと冬を迎えています。島内は風が大変強いので、体感温度が寒い事、寒い事・・・そして今年は海岸では熱帯魚が寒波に負けて浮いてくるというニュースがあった程でした。

石垣島を中心とした八重山地区は大小63の島からなっていますが、地域の砦となる総合病院は、今回研修をした沖縄県立八重山病院（288床）ただ一つです。そのため石垣島だけではなく周囲の離島全てからあらゆる患者さんがやってきます。（ここで対応できない場合は沖縄県立中部病院、または琉球大学にヘリコプターで搬送となります。）

1月19～30日の小浜島・離島診療所研修の間に八重山病院への緊急搬送を2件経験しました。そのうち1件は知り合いになったおじいさん（Aさんと呼びます）でした。夜8時Aさんに誘われ、年季の入った軽トラックに乗っての民謡コンサート会場と称したホテルのロビーに出かけました。なんとなくゼイゼイしているなと思いましたが、静かに鑑賞している間は問題なく過ぎました。しかし、コンサート終盤に演奏された「あの、軽トラックに乗って」というオリジナルソング（Aさんがモデル！！）が演奏されたときに興奮は最高潮に。そして心臓はおそらく限界に・・・持ち合わせていた、ミオコールスプレーを吸入しても改善なく、歩行は勿論、会話も困難となってしまいました。診療所の指導医に即・コールし、最終的には慢性心不全の急性増悪の診断で県立八重山病院にヘリコプター搬送となり、事なきを得ました。沖縄では離島を含め、患者をたらいまわしにしない、必ず受けるといった信念に基づいているため、このような場合も迅速に対応してもらえる非常に恵まれている地域だと言えます。当然、受け皿となる八重山病院も当直体制には、夜間ヘリコプター搬送当番もあり、24時間診療に当たっています。

さて、メインとなる2カ月目の八重山病院の内科研修ですが、八重山地区の中核となる総合病院のため全ての内科疾患を診る必要があります。私は内科グループの一員として診療にあたることになりました。毎朝7時30分に内科全員で集合し、月木金曜日はICUのラウンドから1日がはじまります。火曜日は外科との合同画像カンファランスと放射線科ドクターの内科、外科共通の画像レクチャー、水曜日は内科合同カンファランスを行います。入院患者の診断、治療のプランはまず自分で考え、そして指導医とともに診療に当たることになりました。内科は総勢13名、消化器内科は3名で常に一人10-15人の患者を受け持つため研修医が積極的に診療にあたる必要がありました。指導も屋根瓦式で、必ずフィードバックがあり、非常に勉強となりました。消化器内科スタッフは午前：上部消化管、午後：下部消化管検査、火曜の午後：ERCPなど検査が詰まっているほか、吐血時は昼夜問わず緊急処置に呼ばれ、一般診療＋消化器内科の仕事をこなすことを要求されています。しかしどんなにハードな毎日でも、八重山病院の先生方は並の医師の3倍はあると思われるパワーと、コメディカルスタッフとの密な連携でフル回転し、そしてどの先生方からも感じられる島が大好きで何とかしようといった使命感で、毎日が動いている印象でした。プライマリ・ケアの集大成としての研修をしたいと希望して、初期研修の後半に離島研修をさせていただくことになりましたが、実際、誌面では紹介しきれない位ぎっしりと中身が詰まった2カ月間でした。来年行く後輩にも是非、この離島研修を経験し、頑張ってもらいたいと思います。



Ⅳ

地域医療研修中の待遇について

	病院名	①土日・祝日の勤務	②勤務した場合の取扱い	③宿日直の有無	④宿日直手当の金額
1	横浜市総合保健医療センター	なし	－	なし	－
2	横浜掖済会病院※	なし	－	なし	－
3	横浜保土ヶ谷中央病院	あり	手当 20,000 円 ／ 1 回	あり	手当 20,000 円 ／ 1 回
4	木下クリニック	あり（土曜）	木曜休み	なし	－
5	小林内科クリニック	なし	－	なし	－
6	国際親善総合病院	なし	－	あり	平日：10,000 円 ／ 1 回 土曜：18,000 円 ／ 1 回 日祝：20,000 円 ／ 1 回
7	湘南中央病院	なし	－	なし	－
8	湘南ホスピタル	なし	－	なし	－
9	深沢中央診療所	あり（土曜）	火曜休み	なし	－
10	横須賀市立市民病院	あり（土曜月 2 回）	特になし	なし	－
11	三浦市立病院	なし	－	あり	33,000 円／ 1 回
12	神奈川県立足柄上病院	あり（宿日直として）	病院規程による 手当	あり	病院規程による 手当
13	富良野協会病院	あり（土曜月 2 回）	特になし	なし	－
14	松前町立松前病院	なし	－	あり	手当なし
15	公立相馬総合病院	なし	なし	なし	なし
16	新潟労災病院	なし	－	あり	9,900 円／ 1 回
17	遠山病院※	あり	25,000 円／ 1 回	あり	25,000 円
18	嶺北中央病院	なし	－	なし	－
19	栲原病院	なし	－	なし	－
20	平戸市立病院	なし	－	あり	10,000 円／ 1 日
21	柿添病院	あり（土曜午前中）	特になし	平日宿直あり	10,000 円／ 1 回
22	青洲会病院	あり（宿日直として）	特になし	あり	－
23	出水郡医師会広域医療センター	あり（土曜月 2 回）	手当 20,000 円 ／ 1 回	あり	平日：15,000 円 ／ 1 回 土日祝日：20,000 円 ／ 1 回
24	那覇市立病院	なし	－	なし	－
25	豊見城中央病院	あり	病院規程による 手当	なし	病院規程による 手当
26	沖縄県立八重山病院				

※横浜掖済会病院に関する補足説明

時間外手当 50,000 円／月

※遠山病院に関する補足説明

1 カ月あたり宿日直 4 回（平日輪番日夜間・日曜昼間・日曜夜間）。希望により輪番日以外の当直もあり。

日曜に勤務した場合は、前日土曜に休みを付与。

自己紹介票

研修施設								
研修期間	H	年	月	日	～	年	月	日
研修医氏名	フリガナ							
生年月日	S	・	H	年	月	日		
出身大学								
連絡先 (携帯電話又はメール)								
医師免許	番号			取得日				
保険医登録	番号			取得日				

これまで研修した診療科 (研修した期間と診療科名と記載)

一 年 目	研修した期間						
	診療科						
二 年 目	研修した期間						
	診療科						

自己紹介

地域医療研修で学びたいこと

1	
2	
3	

